地方史情報 149

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

| 北海道 | <u> 1</u> | 富山 | 見見 3 | 30 | 奈良県 | 65 |
|------|------------|-----|-------|----|-------|----|
| 宮城県 | 2 | 石川 | 県 : | 31 | 和歌山県 | 66 |
| 秋田県 | 4 | 福 井 | . 県 | 31 | 島根県 | 66 |
| 福島県 | ₹ 5 | 長 野 | 県 3 | 32 | 広島県 | 67 |
| 茨城県 | ₹ 5 | 岐 阜 | 県 4 | 40 | 徳島県 | 69 |
| 栃木県 | ₹ 6 | 静岡 |] 県 4 | 41 | 愛媛県 | 69 |
| 群馬県 | ₹ <i>7</i> | 愛 知 |] 県 - | 44 | 佐 賀 県 | 72 |
| 埼玉県 | ₹ 8 | 三重 | 県 4 | 47 | 宮崎県 | 73 |
| 千葉 県 | ₹ 9 | 滋 賀 | ! 県 - | 48 | 沖縄県 | 73 |
| 東京者 | ß 12 | 京都 | 府 | 50 | 寄贈図書 | 74 |
| 神奈川県 | ₹ 26 | 大 阪 | 府 | 53 | | |
| 新潟県 | ₹ 29 | 兵 庫 | ! 県 (| 50 | | |

北海道

◆アイヌ語地名研究

アイヌ語地名研究会 (発売:北海道出版企画センター)

〒001-0017札幌市北区北十七条西1丁目1-1 コーポ望 EM011-728-6400 年5000円 1998年創刊

◇23 2020.12 B5 126p 2000円

豊頃町のアイヌ語地名(2)

アイヌ語地名における「ケーの意味 小林 耕一

秋山 秀敏

栗山町及び石狩平野のアイヌ語地名に関する神謡的、天文学的地名解

と確率評価・中野・良官

『生剛村』は『オベッカウシ村』 早田 国光

||生剛村|| は ||オペッカワン村|| 早田 国元 ||地名「札幌 || の由来 渡辺 降 『アイヌ語沙流方言辞典』におけるアイヌ語地名について 伊藤せいち 資料紹介

アイヌ語地名研究会の行事と活動

アイヌ語勉強会 毎週木曜日 髙橋 和男 アイヌ文化を読む会 毎月第一火曜日 佐賀 彩美 アイヌ語地名を調べる部会 毎月第三火曜日 土井 勝典 古文書部会 毎月第四火曜日 澤田 敏明

◆アイヌ語地名研究会会報

〒001-0017札幌市北区北十七条西1丁目1-1 コーポ望 脉011-728-6400 年5000円

♦82 2021.2 B5 8p

アイヌ語地名研究会の定例部会と行事の予定

ヌプル(nunur)地名は巫術と関連した信仰地名ではないか

「色が濃い」の解から「霊験の高い」への読み替え 中野 良宣 切替英雄さん逝去 記・渡辺 隆 木村晴海さん逝去 記・渡辺 隆

◆北方民族博物館だより 北海道立北方民族博物館

〒093-0042網走市潮見309-1 1至0152-45-3888 1991年創刊

http://hoppohm.org

♦120 2021.3 A4 8p

クションより

企画展 "アマゾン博士" の北方紀行 山口吉彦旧蔵・北方民族コレ

新収蔵資料紹介 山口吉彦コレクションについて

中田 篤

焦 中田

ロビー展 石の知る辺~アメリカ・ニューヨーク州のロングアイラン ド、先住民シネコックに鯨の物語をたずねて 是恒さくら 本・刺

繍・写真展 笹倉いる美

ロビー展 オホーツクシリーズ(14) 北の状景から

野口 泰弥

講習会 初めての歩くスキーツアー

中田 篤

宮城県

◆震災文庫だより 宮城県図書館

〒981-3205仙台市泉区紫山1-1-1 12022-377-8498 2020年創刊 http://www.library.pref.mivagi.jp

♦1 2020.10 A4 2p

東日本大震災文庫編

これまでに所蔵している資料

これから整理していく資料 空中写真、チラシ・ポスター類、関東 以西の新聞社から寄贈された新聞

いま整理している資料

東日本大震災デジタルアーカイブ編

これまで公開したコンテンツ

いまおこなっている作業

コンテンツ公開にむけて(1) 公開のための権利許諾

◇2 2021.3 A4 2p

東日本大震災文庫編

震災から10年の資料群

分類される資料(図書資料)

図書資料、雑誌等(逐次刊行物)資料、一枚刷り資料

企画展を開催中 東日本大震災文庫展「あの日はいつもどおりの はずだった」

東日本大震災デジタルアーカイブ編

コンテンツ公開にかけて(2) 肖像権を考える

いまおこなっている作業 データのブラッシュアップ

パネル展を開催中 「二管本部東日本大震災救援記録写真パネル展」

◆ナジェージダ(希望) 石巻若宮丸漂流民の会

〒236-0052横浜市金沢区富岡西2-21-23 大島幹雄方 TeL045-773-4643

http://deracine.fool.jp/wakamiya/

♦45 (vol.19) 2021.1 A4 44p

特集 善六と新蔵が翻訳した赤水地図

特別寄稿 新蔵と善六の長久保赤水日本図の露訳について 小林 茂 ロシア語版『改正日本輿地路程全図』 三好 彰

諫早が何故「TAKARAI」と訳されたのか 佐藤三寿夫

善六と新蔵の赤水地図 試訳 大島 幹雄

パンフレット『石巻若宮丸漂流民物語』を参考にして読む

若宮丸漂流民供述調書「口書」 小松 芳文

 アリュート民族と漂流民
 松井 哲朗

 女性と船
 佐藤三寿夫

シネマ歌舞伎『月光露針路日本 風雲児たち』を観る 木村 成忠

書籍紹介 『未来に残したい島の記憶 宮戸島読本』のご紹介 新沼 慎二 若宮丸漂流民物語パンフ配布しました 石巻 若宮丸パンフについて 本間 英一 塩竈 塩竈市内の全小中高に贈呈しました 大和田庄治 東松島 東松島市でのパンフレット配布 千葉 輝子 東松島 パンフレットを配布して 菅野 利一 追悼 観音寺・渡邊照悟住職を偲ぶ 千葉 輝子

◆史の杜 上廣歴史資料学研究部門ニューズレター 東北大学東北アジア研究センター

〒980-8576仙台市青葉区川内41 12022-795-3140 2013年創刊

https://uehiro-tohoku.net

◇10 2021.03 A4 8 部門長を退任するにあたり
 平川 新
古文書のひろば(1) 古文書にみる「屛風山」復興の軌跡
 萱場 真仁
古文書のひろば(2) 藻巻一要害の堀の維持管理
 野本 禎司
広げよう、古文書の輪 南郷古文書を読む会
 っております。
 安部 長徳
調査の現場から

上廣歴史資料学研究部門 2020年度の活動

秋 田 県

◆秋田民俗通信 秋田県民俗学会

〒010-0951秋田市川尻大川町2-8 秋田文化出版内 151018-864-3322

年4000円 1974年創刊

♦132 2020.12 B5 4p

予言獣としてのアマビエ(前)

石郷岡千鶴子

◆秋田歷研協会誌 秋田県歴史研究者·研究団体協議会

〒010-0811秋田市泉釜ノ町16-5 渡辺方 1996年創刊

http://akita-nct.ac.jp/~wakino/rekiken.html

♦ 74 2021.1 B5 22p

表紙 花輪館本丸跡・二の丸跡(現鹿角市立花輪小学校校庭)

特集 秋の歴史フォーラム 秋田の城館Ⅲ

秋田南部藩境の城「花輪館」

木ノ内 瞭

金沢柵推定地(陣館遺跡と金沢城跡)の調査成果

一金沢柵解明の取り組み

島田 祐悦

用語解説 I 「償」(つぐない)制度

半田 和彦

用語解説Ⅱ 分限帳(5)(角館組下分)

半田 和彦

文献情報 加入団体会誌、その他の会誌、著作等/催しもの情報

福島県

◆福島史学研究 福島県史学会

〒960-8251福島市北沢又字東谷地西3-5 年3000円 1951年創刊

♦99 2021.3 A5 98p

再考 稲村御所・篠川御所と南陸奥国人

小豆畑 毅 柳内 壽彦

会津南部の発掘調査された中世城館跡について

例(1) 可多

地域が守った「文化財」一久川城における廃城後の経緯から

佐藤 啓

会津における城氏伝承の世界(2)一城氏の展開と会津の伝承

坂内 三彦 井戸川方志

「石那坂」をめぐる試論(下) 五人組帳前書と手習い手本

开户川方志 阿部 俊夫

書評 岡田清一著『中世南奥羽の地域諸相』

水久保克英

2020年度古文書講習会(中級編) 開催報告

◆福島県史料情報 福島県文化振興事業団

〒960-8116福島市春日町5-54 1至024-534-9193 2002年創刊

https://www.historv.fcp.or.jp

♦59 2021.2 A 4 4p

江戸時代の刀剣番付と福島県ゆかりの刀工

山田 英明

棚倉藩主丹羽長重時代の年貢割付状

渡邉 智裕

渡辺大忠(昇)書翰に見る戊辰戦争とアウトロー

小野孝太郎

明治十五年コレラ流行と伊達郡山崎村の対応

小野孝太郎

磐城硝子製造所組合の設立と渋沢栄一

ある村馬医の立志伝―今村文五郎

渡邉 智裕山田 英明

茨 城 県

◆史 境 歴史人類学会

〒305-8571つくば市天王台1-1-1 筑波大学人文社会系内 TRIO29-853-4047/4403 1980年創刊

◇**79·80** 2020.9 A 5 235p 4000円

講 演

アメリカ革命の理念と背反

ーアーノルド(不忠)、ハミルトン(背信)、バー(反逆)の場合 明石 紀雄 歴史の証人としての暦―比較研究の基礎に 中牧 弘充

シンポジウム「継承と変革―歴史学と人類学の視点から―」

趣旨説明

王権継承の場所を考古学から考える

日高 慎

変革の記憶と伝承としての継承

一韓国巨文島での生活経験者の「語り」を事例として

徳丸 亞木

近代ドイツの人口問題に見る継承と変革

一少子高齢化と民衆の持続可能性

村上 宏昭 山本 真

コメント シンポジュウム「継承と変革」から考える

討論 「継承と変革―歴史学と人類学の視点から―|

山澤 学

マリア・テレージアのハンガリー王戴冠式と虚構報道

一塗油儀礼におけるイメージ形成

討論の要旨と成果

上村 敏郎

ドイツ国家国民党青年組織における君主主義

高岡慎太郎

南京国民政府成立初期、北平市の党政関係―米信打破風潮からの分析

何 क्र

民国時期のアヘン貿易と哥老会勢力一四川省を対象地域として 楊家鑫 戦後日本における上原専禄の「国民 | 論と「国民教育 | 論

伊藤智比古

書評 饗庭伸・青井哲人・池田浩敬・石榑督和・岡村健太郎・木村周

平・辻本侑牛(著)、山岸剛(写真)『津波のあいだ、生きられた村』中野泰

栃木県

◆鹿沼史林 鹿沼史談会

〒322-0054鹿沼市下横町1302-5 まちなか交流ブラザ 年3000円 1954年創刊 http://tochigi-vnpo.net

♦60 2021.2 B5 49p

《第60号記念誌》

「鹿沼史林」第60号記念誌発刊に当たりて

中島 正

鹿沼における近代産業の展開

中島 正

城址と古刹 天満宮星宮神社(松崎)の研究 國立 惠俊

駒場 一男

市町村の合併・鹿沼市の成立一平成の合併まで 昭和(戦後)を語る会記録 駒場 一男

第1回 家具業の戦後を語る

語り手・福井辰次/聞き手・黒川榮三/記録 福田純一・高田了輔 第2回 イチゴ栽培の黎明期を語る 語り手・川島一男/聞き手・駒場一男/ 記録 福田純一・高田了輔/立会・黒川榮三

鹿沼史談会の足跡 平成22(2010)年~令和2(2020)年度

『鹿沼史林』第50号の続き

作成・福田純一

『鹿沼史林』総目録(第50~59号)

作成·福田 洋

◆歴文だより 栃木県歴史文化研究会会報

〒320-0865宇都宮市睦町2-2 栃木県立博物館内 Tell028-634-1313 年4000円 1991年創刊

♦118 2021.1 A4 4p

《特集 史料レスキューについて》

とちぎ歴史資料ネットワークの誕生

髙山 慶子

鹿沼市における学校資料にレスキューと資料所在把握

堀野 周平

資料館の被災から那須資料ネットへ

金井 忠夫

新刊紹介 川田純之著『徘徊する浪人たち 近世下野の浪人社会』

群馬県

◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会

〒379-2154前橋市天川大島町317-1 〒1027-223-2785

年4500円 1973年創刊 http://www16.plala.or.jp/kuzira226/

♦ 266 2021.4 A5 56p

口絵 国重要文化財 丸沼堰堤

井野 修二

『白衣観世音建立之趣旨』余話(4)-「撰文并書 井出松濤」

田口 正美

初代群馬県令 青山貞 ようやくのエジプト紀行

井野 修二 松田 猛

群馬の鉱山(5) 八幡・中丸鉱山編(2)

本多 優二

橋かるた

輿水 泉

歴史散歩の報告(事務局企画) 龍馬脱藩の道と国際人ジョン万次郎

一梼原街道・足摺岬・四万十川遊覧

山崎 正

表紙写真 丸山堰堤(片品村)

井野 修二

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会

〒372-0033伊勢崎市本町5226-12 永島政彦方 161,0270-32-9070 1979年創刊 **♦165** 2021.3 B5 8p

真田氏改易後のキリシタン探索

藤井 茂樹

山仕事の餅とボタモチ

横田 雅博

高山彦九郎の伝承―細井平洲に叱られ、弟子となった話の発生 井野 修二

第116回例会記事 オンライン 髙田萌恵氏「妙義大権現から妙義神

社への変遷 | (髙田)、鹿村眞理子氏「看護学と民俗学の接点 | (鹿村)

第116回例会記事 オンライン例会を振り返って

給木 英恵

埼 玉 県

◆埼玉地方史 埼玉県地方史研究会

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂11-1 さいたま市市民活動サボートセン ター メールボックス B13 年3000円 1975年創刊

http://saitama-chihoshi1952.blogspot.com

♦80 2021.2 A5 62p

江戸時代初期の栗橋関所に関わる二・三の考察について

―『伊達治家記録』の検討を中心にして

堀内 謙一

養負騒動の記憶とその変容

関連性について

内田 満

諏佐 成紀

開拓使官有物払下げ事件に関する加藤政之助の回想と福沢諭吉書簡の

書籍紹介 『最後の空襲 熊谷』 熊谷空襲を忘れない市民の会(熊谷

空襲七五周年記念出版プロジェクト)編 大井 教實

新型コロナウイルス感染症拡大下の会務報告(2020年6月~2021年1月) (太田)

◆郵便史研究 郵便史研究会

〒333-0834川口市安行領根岸1879 上遠野義久方 年3500円 1995年創刊 http://www.yuubinshi.sakura.ne.ip

◇51 2021.3 B5 86p 2000円

カバーが語る 在中国アメリカ郵便史 1802-1922年(2) 大場 光博

竜切手「銭四十八文」再考(2) 省百の歴史 藤本 栄助

星名 定雄 近世イギリスの海外郵便の発展(2)

審査論文 軍事郵便の交換に見る兵士とその家族たち 寺戸 尚隆

近刊紹介

松田裕之著 佐々木荘助 近代物流の先達一飛脚から陸運の政商へ

山川 一郎

星名定雄編著 郵政博物館収蔵 昭和切手図録 付・福島市ふれあ

い歴史館所蔵作品 田中 寛

井上卓朗編著 東海道~飛脚と郵便の道 星名 定雄

切手の博物館の本 戦後75年・手紙が語る戦争の記憶 星名 定雄

追悼抄 児玉敏夫氏

児玉さんを偲んで 上遠野義久

児玉さんと鉄郵 近辻 喜一

旧刊紹介(25) 内海朝次郎著『逓信畠の先輩巡禮』

交通経済社出版部 昭和10年8月15日 鈴木 克彦

資料翻刻(2) 正院本省郵便決議簿 第貳号 田原 啓祐

口絵カラー 郵便150年 新旧司令塔/郵政博物館資料センター収蔵の「試刷|

千葉県

◆我孫子市史研究センター会報

〒270-1152我孫子市寿1-3-12 荒井方 TelO4-7182-2838

http://abikosisiken.main.jp

◇224 (通531) 2021.2 A4 10p

アビスタ・ストリート展示について 表題「我孫子の歴史いろいろ」

歴史部会12月の活動報告 幕末から戦前にかけて布佐で活躍した仏師

たち一杉山林哲・宗哲・高野光慶とその弟子たち 飯白 和子 コロナ禍のもと、解読を楽しむ 後藤 美鈴

コロナ禍のもと、解読を楽しむ会誌編集委員会からのお知らせ

会誌『我孫子史研究』2号、投稿申込9名に 会誌編集委員会(文責・飯白和子) 文化庁が認定「我孫子市文化財保存活用地域計画」 郷土資料推進会(文責・東) 「我孫子に郷土資料館を」急がれる収保存・収集

長谷川一顧問 追悼特集

 長谷川一さん、有難うございました
 東 日出夫

 市井の研究者
 荒井 茂男

 ご冥福をお祈り申し上げます
 金成 典知

 追悼 長谷川一さんのこと
 品田 制子

 市民史家・長谷川さん、ありがとうございました
 柴田 弘武

 愚弟賢兄
 関口 一郎

長谷川一元会長の調査一コマ 中澤 雅夫

アルバム・長谷川さんと一緒に楽しんだ日々

◇225 (通532) 2021.3 A4 4p

歴史探訪部会 3月例会 柏市「増尾・名戸ヶ谷地区」を訪ねる アビスタストリート展示

古文書火曜部会

文政11年牧士用御用留帳(花野井吉田家文書)解読のために 金成 典知 将軍のふるさと、将門栗餅ができました 海津にいな

◇226 (通533) 2021.4 A4 4p

古文書火曜部会 幕末の我孫子における農間売薬渡世 近江 礼子 表採から見る日秀将門神社遺跡 茂木 勝己

◆神田外語大学日本研究所紀要

〒261-0014千葉市美浜区若葉1-4-1 15L043-273-1389

♦13 2021.3 A5 238p

慶応二年政局における薩摩藩の動向一藩政改革と薩英関係の伸展 町田 明広 配慮の精神を実践する「働く女性達」の語りの文化分析 吉田 光宏 桂川甫賢筆ヒポクラテス像の賛、進出二種の典拠について 松田 清

Confucian Reverberation in Watsuji Tetsuro's Ethical Philosophy:

Exploring the Dynamic of the *Universal-in-Particular* Alexandra MUSTATEA シーボルト著『NIPPON』図版に掲載された工芸品について 標庭 美咲『日本広東学習新語書』の「人称詞・方位詞」について 矢吹 昭文

『日本広東学習新語書』及び『明治三十八年 戸口調査用語(広東語)』

所収の符号仮名(3) 山村 敏江 桂川甫賢長崎屋宴会図に描かれた建築をめぐって 桐浴 邦夫

日本とメキシコ 日墨関係140年の系譜と展望 柳沼孝一郎

日本研究所活動報告 オンライン企画展「明石博高と島津源蔵―京の

近代科学技術教育の先駆者たち一」の公開 松田 清

◆利根川文化研究 利根川文化研究会

東上鉄道開通後の河岸問屋定雇船による肥料仕入輸送

一大正期新河岸川筋下新河岸伊勢安の定雇船を中心として 酒井 智晴 下総行徳における寛永期の諸問題一寛永検地帳(写)の紹介を中心に 菅野 洋介 宮城造営に伴う砂・砂利の需要と供給

- 『皇居告営録(砂砂利)』を中心として 野中 和夫 史料紹介 赤松宗旦家『書画帖』の紹介と若干の考察 古田 吉光 史料からみる「粕壁 |- 『春日部市史』 史料編から 安藤 眞弓 活動紹介 皆さんに支えられた古賀河川図書館の活動の歩み 古智 邦雄 巡検報告 旧宗岡村の舟運関係史跡について―宗岡巡検報告 阿部 裕樹 久喜・井出地区巡検―琵琶溜井記念館と葛西用水 川名 禎 書評・新刊紹介 池田宏樹著『戦後復興と地域社会―千葉県政と社会運動の展開』 川名 淳 村田一男先生喜寿記念論集編集委員会編『村田一男先生喜寿記念論 集 地域史の再検討』 川名 禎 **♦44** 2020.3 B5 68p 宝暦期の利根川改修案 淳二 原 統計資料からみる新河岸川舟運と関係鉄道 阿部 裕樹 新四国巡礼の記録一印西大師八十八ヶ所 村上 昭彦 資料紹介 利根町押付本田水神社の棟札と絵馬について 古田 吉光 活動紹介 利根運河と関宿を結ぶツーリズムの提案 一利根運河・江戸川・利根川に「渡し跡標柱」設置の有用性 新保 國弘 書評・新刊紹介 大矢敏夫著『小金原御鹿狩のことがわかる徳川将軍 の小金原御鹿狩―嘉永二年将軍家慶による小金原御鹿狩を読み解く| 川名 禎

◆房総古代道研究 房総古代道研究会会誌

〒290-0073市原市国分寺台中央6-12-3 山本勝彦方 NX0436-23-1098 2016年創刊

♦5 2021.3 A4 70p

特集 市原市の六十六部廻国供養塔

市原市の廻国供養塔調査の基調報告 山本 勝彦

廻国塔に刻まれた六十六部の諸相(1)

一出羽三山信仰と廻国行者、および女人廻国行者ほか 伊藤 邦昭

廻国塔に刻まれた六十六部の諸相(2)

―主として複数の廻国塔に重出する六十六部 山本 勝彦

古代の交通路と渡りと橋 佐々木虔一

古代の安房国平群郡の馬・海産物と平群氏 前之園亮一

講演会記録

銅鐸埋納地の調査から見えてくる弥生時代 平沢 栄作

中国唐代の交通路と古代東アジアの交流(抄)

一入唐日本僧の行程を中心に 河野 保博

下総国府周辺の古代道路について一最近の発掘調査から 垣中 健志

幕末の菊間藩と鶴舞藩誕生の実像 塚原 茂

房総三国の成立と「フサ」 服部 一隆

東京都

◆アーカイブ通信 ネットワーク・市民アーカイブ

〒190-0022立川市錦町3-1-28-301 12L042-540-1663 年6000円

2014年創刊 http://www.c-archive.jp

◇21 2021.3 A4 8p

手がきのミニコミが伝えること

增沢航/杉山弘

開館7周年記念講演会を開催します 「コロナ禍の社会をどう読むか

一女性たちの現在一| 講師: 竹信三恵子さん

ミニコミ紹介

『夢見る三角川原 里の川・平井川の自然を保全するために』

川原で遊ぼう会 2000年6月創刊

计 淑子

『びよんどネットおたより』

びよんどネット 2011年7月創刊 2021年2月第34号(最終号) 菊地原 博 第6期緑蔭トーク報告

第3回 「オリンピック・パラリンピック中止をめぐる理由と東京

の立場」 いちむらみさこさん

第4回 「自治体社会教育機関の地域資料収集・提供・保存の意味

一住民自治を支えるために一」 荒井敏行さん

私と市民活動資料(15)

「だれか声に耳を澄ませて」

堀越比菜子

市民アーカイブ多摩の四季(7) 春 ミツマタ

邑田 仁

シリーズ"現場"を訪ねる(5) 65周年をむかえた砂川闘争現地を巡

る一「砂川平和ひろば」を訪ねて

高原 太市

◆あしなか 山村民俗の会

〒330-0854さいたま市大宮区桜木町4-201-2 塩野谷明夫方 TEL048-465-7818 年5000円 1939年創刊 http://www8.ocn.ne.jp/~sanmin/

♦319 2021.2 B5 22p

表紙解説 深大寺「元三大師降魔札」(東京・調布市) 北陸の八百比丘尼伝承(前編)ー福井県 編 集 室 石森 長博

長崎・栃木におけるスペイン風邪と天然痘―コロナ感染の中で

井上 義雄

松平定信制作·谷文晁画筆『公余探勝図』(完結編)

一洋風画史におけるその軌跡をさぐる(1)

鷲頭 降

旅の草ぐさ(30) シルクロード、夢ものがたり一半世紀前を旅する 岡野 友宏 会員著書 鈴木正崇著『熊野と神楽―聖地の根元的力を求めて』

文献紹介 井上浩著「本のなかのサツマイモ(連載7) — 森銑三著『明 治東京逸聞史』に見る」(『いも類振興情報』 No.144(2020.7) いも類 振興会発行)

◆明日を拓く 東日本部落解放研究所

〒111-0024台東区今戸2-8-5 12103-5603-1863 1993年創刊

http://www.hblri.org

◇127 (47-2 210) 2021.3 A5 108p 1000円

故・川向秀武先生に捧ぐ

平井 明

特集1 若者世代の部落問題・差別問題認識

特集にあたって

編集部

座談会 若者世代の部落問題・差別問題認識 若者世代:向山夏 奈さん・粟国志保さん・川口弘志さん・佐藤雄哉さん・齋藤希帆 さん/先行世代:鈴木英生さん・村田浩司さん・近藤登志一さん・ 島山洋さん/司会:吉田勉

特集2 浅草フィールドワーク

特集にあたって

編集部

事前学習(1) 江戸・東京の部落史

ガイド・浅草フィールドワーク

吉田 勉

事前学習(2) 台東の部落問題と差別と闘う社会づくり

近藤登志一

写真, 円谷英夫/文, 吉田勉

The state of the s

感想 フィールドワーク 円谷英夫さん/鈴木英生さん/殿岡駿星

さん/水無瀬尚 素人の散歩は危険?

◆**足立史談** 足立区教育委員会足立史談編集局

〒120-0001足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 Tm 03-3620-9393

♦636 2021.2 A4 4p

資料紹介 新古の武具―畳胴具足と星兜鉢

多田 文夫

足立区で発掘された「砂脈」

田中千代吉

♦637 2021.3 A4 4p

 戦国武士の言い伝え 斉田頼康の墓
 多田 文夫

 あだち民具図典(3) 万石通し
 佐藤 夏美

 はい、文化財係です。(25) 荒川堤五色桜碑
 佐藤 貴浩

穂高健一『紅紫の館―郷土・日比谷健次郎の幕末』 (学芸員 多田)

佐藤秀樹『千住の酒合戦と後水鳥記』

(学芸員 小林)

◆足立史談会だより

〒120-0001足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 1元03-3620-9393 ◇395 2021.2 A4 12p

史談会が預かっています 「柳田國男全集」昭和43年~45年刊 全28 巻揃い 岩波書店、「斎藤茂吉全集」第1巻~36巻・揃い 岩波書店、 「森鷗外全集」岩波書店/『私たちの学童疎開体験記』

民主主義を見直そう 戦後の新教育指針(文部省資料昭和21.5.1)(7)

編・堀川和夫

足立の先人譚 千住に地縁・周縁を結んだ人々 千住一丁目編(上) 千寿小学校/関澄伯理・関澄桂子/中六こと中屋六右衛門「千住の 酒合戦」/「井戸福」鈴木福太郎/橘井堂森医院 森静男・森林太郎

相川謹之介

あちこち 片葉の葦 その1/次は「三ヶ日町」の片葉の葦 江戸川柳で物価を知る(5)下 銭売りと緡売り大違う

稆泉(小泉健男氏潰稿)

江戸川柳で物価を知る(6) 小判の効能 稆泉(小泉健男氏遺稿)

江戸川柳で物価を知る(7) 海辺の南宿と波 稆泉(小泉健男氏遺稿)

雅号の「稆」について

江戸川柳で物価を知る(8) 百三は激安なり 稆泉(小泉健男氏遺稿)

小判の価値

江戸川柳で物価を知る(9) 六文で遣う小判は見栄っ張り

稆泉(小泉健男氏遺稿)

アイスキャンデー (これは別稿です)

小泉 健男

稆 泉

8月号「江戸川柳で物価を知る」を読んで

市川 勇

♦396 2021.3 A4 8p

橋本律蔵墓・修理おわる

民主主義を見直そう 戦後の新教育指針(文部省資料昭和21.5.1)(8)

極端な国家主義とはどういうことであるか

編·堀川和夫

足立の先人譚 千住に地縁・周縁を結んだ人々 千住一丁目編(中)

森鷗外/山岸音二郎/河合栄治郎

相川謹之介

江戸川柳で物価を知る(10) 紺屋高尾の三年 稆泉(小泉健男氏遺稿)

江戸川柳で物価を知る(11) 一攫千金を夢見る庶民

稆泉(小泉健男氏遺稿)

砧(きぬた) 小泉健男氏遺稿/スワリが良い 小泉健男氏遺稿

◆あるむぜお 府中市郷土の森博物館

〒183-0026府中市南町6-32 TELO42-368-7921 1987年創刊

http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/

♦135 2021.3 A4 8p

表紙 府中市内に設けられた競歩折り返し点(1964年10月18日 現緑 町)

1964東京オリンピックと府中(4)

府中市民とオリンピックの記憶 佐藤 智敬

府中の都市動物 BLACK LIST(3) 糞害に憤慨? 中村 武史

NOTE 府中の都市動物 BLACK LIST FINAL

外来種は善か悪か…3種の審議 中村 武史

最近の発掘調査 府中第八小学校で鎌倉時代の遺跡を発見!

是政一丁目 湯瀬 禎彦

府中の史料に見る 江戸時代の流行病(4) 感染力の強い麻疹 花木 知子

平成史に残る天文・宇宙イベント(8) 誕生!小惑星ムサシフチュウ 相澤 南美

◆板橋史談 板橋史談会

〒174-0075板橋区桜川2-27-3 大澤鷹邇方 TELO3-5398-2682

1966年創刊 http://www.sites.google.com/stite/itabashishidankai/

♦307 2021.2 B5 36p

表紙写真解説 石神井川の桜と板橋 板橋区仲宿五十番付近

写真と文・井上富夫

「那須与一とポックリ信仰」補遺一二十五菩薩練供養をめぐって 松崎 憲三

武蔵国豊島郡蓮沼村金剛院の廃寺とその歴史的背景(1) 井上 富夫

区政つれづれの記(3) 教育編(3) 松浦 勉

常盤台天祖神社文書について(4)―昭和二十年度上板橋国民学校通信箋

小林 保男

追悼 小泉繁樹さん(例会部長)を悼む 井上 富夫

ひろば 大手町から日枝神社へ武蔵野崖線を歩く 佐野 温子

地域図書紹介 『向原の昔』三原寿太郎著 文責・大澤鷹邇

◆奥武蔵 奥武蔵研究会

〒175-0092板橋区赤塚7-18-7 https://www.okumusashi.club

♦438 2021.3 B5 26p

五十七年の時を超えて小泉 重光鐘撞堂山中に洞穴を探して野口 実丑蔵の山 牛伏山の登る加藤 恒彦思い出の中の藤本さん(5) 正井暉雄と田淵行男氏のこと町田 尚夫読後感入子 文子

山行報告

秩父順礼江戸古道(6)小泉 重光竹寺・子ノ権現初詣山行加藤 恒彦児玉三十三霊場めぐり(4)西東 昭夫城下町川越の歴史散歩関口 洋介秩父順礼江戸古道(7)小泉 重光

今月号の表紙について 「秩父市別所の藁葺き古民家」加藤恒彦氏撮影

◆北区史を考える会会報

 第39回定期総会
 報告・林健一

 新会長就任にあたり
 有馬 純雄

 大澤栄美会長退任!! 「おつかれさまでした。」
 山田美登里

 第451回 月例研究会 きものに観る日本の文化
 鈴木 啓三

 十条のちょっと前の話
 馬場 永子

 私の幼少期……疎開体験
 川上 明

◆郷十史 八王子市川口郷土史研究会

〒192-0151八王子市上川町3160-9 車田勝彦方 TeLO42-654-3101

♦42 2021.3 B5 6p

コロナ禍と3K 表紙:一悦庵(楢原町) 撮影・伊藤勝之 瀬沼 秀雄 令和二年度総会・懇親会 「コロナ」ニモ負ケズ 吉田 待江 明治の川口村を襲った感染症 杉田 博 優しい眼差しと表現力 中嶋 丈史 武蔵野陵内の太夫坂由来 伊藤 弘一 青い目の尼僧と一枚の絵 『小説 花とゼロ戦』余話 岡村 繁雄

◆儀礼文化ニュース 儀礼文化学会

〒160-0012新宿区南元町13-7 1m03-3355-4188

♦221 2021.3 A4 8p

催事スケッチ 鳥取県の神楽獅子舞・麒麟獅子舞 幸せを呼ぶ霊獣麒 麟と獅子の舞 新見の神楽獅子舞 鳥取県八頭郡智頭町 富沢神社 5月4日/東井神社獅子舞(麒麟獅子) 鳥取県鳥取市用瀬町 東井神 社 5月2・3日 写真と文・久保田給道

文化財保護法改正にみる儀礼文化の重要性無形の「登録」制度、生

活文化について、必要とされる儀礼文化

会員を訪ねる 飯塚好著『三頭立て獅子舞 その歌と芸能の世界』/

慶事 中島会長に神社本庁より「長老」の称号

東日本大震災から十年 小乗の獅子振りの復興

久保田裕道

◆記録と史料 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会

〒253-0106神奈川県高座郡寒川町宮山135-1 寒川文書館 TEL0467-75-3691 1990年創刊 http://www.jsai.jp

♦31 2021.3 B5 122p

特集 コロナ禍とアーカイブズの未来

特集にあたって

広報・広聴委員会

コロナ禍の中で変わったこと、変わらないこと―福井県文書館の閲

覧・利用とオープンデータ化の取組みから

自治体の責務としての記録作成・保存について

柳沢芙美子

島根県における RPA(ソフトウェア型ロボット)の導入

島谷 容子 早川 和宏

戦後日本における記録映画の上映運動に関する資料収集と整理につい

て一松本市における小川プロダクション作品の上映運動を中心に

相川陽一/森脇孝広

地方公文書館における館と機能の議論について:

1990年頃と2020年の引継移管を比較して

清水 惠枝

仕事に役立つ公文書

―尼崎市におけるアーカイブズの組織内利用をめぐって

松岡 弘之

世界の窓

国境にある文書館と博物館を訪れて

白川 栄美

筒井 弥生

COVID-19感染拡大に呼応した国際機関のウェービナー等に参加し

T

アーカイブズ・ネットワーク

あまがさきアーカイブズ、始動一尼崎市立地域研究史料館の理念・

実践を受け継ぐ 河野 未央 長野市立博物館における保全活動 原田 和彦

書評と紹介

福井健策監修・教藤雅彦責任編集『権利処理と注の実務(デジタ

ルアーカイブ・ベーシックス1)

藤吉 圭二

今村文彦監修・鈴木親彦編集『災害記録を未来に活かす(デジタル

アーカイブ・ベーシックス2)

佐々木和子

瀬畑源著『国家と記録 政府はなぜ公文書を隠すのか?』 加藤論著『大学アーカイブズの成立と展開』

楠本美津子 藤岡健太郎

黒沢文貴著『歴史に向きあう 未来につなぐ近現代の歴史』

田中友香理

資料ふあいる 四国市町村アンケート調査について 嶋田典人/飯島章仁

会員刊行物情報-文献案内 Part30

広報·広聴委員会

◆国史学 国史学会

〒150-8440渋谷区東4-10-28 国學院大學史学科気付 16103-5466-0246 年4000円 http://www.www2.kokugakuin.ac.ip/-kokushi/

♦232 2021.2 A5 53+34p

一九二〇~三〇年代東京における接客業の変化と花街振興策 半戸 文 近畿地方出土埴輪における盾表現 石澤茉衣子

書評と紹介

小倉 宗 高塩博著『江戸幕府法の基礎的研究《論考篇・史料篇》』 岩橋清美・吉岡孝編『幕末期の八王子千人同心と長州征討』 久住 真也

令和二年度 国史学会総会 オンライン配信(Zoom)による開催

例会報告要旨 例会「中世史」

戦国期における朝廷の政務処理一「勅間」を中心に 小堀 貴史 天正十六年聚楽行幸について 遠藤 珠紀

◆史学研究集録 国學院大學大学院史学専攻大学院会

〒150-8440渋谷区東4-10-28 TELO3-5466-0142 1971年創刊

♦44 2020.3 A5 90p

ガムラ・ウップサーラ訪問記 山﨑 雅稔 梶田 航平 常陸親王の基礎的考察

士族反乱における国事犯家族の政治的位置

「江藤家」の政治的求心力を中心に 山下 春菜 近世武蔵の在村蘭学医・小室元長と弟子の生活 山﨑 綾子

♦45 2021.3 A5 60p

巻頭言 ひとりで行けばよい 神長 英輔 フォトグラメトリによる石造物の資料化と活用 篠田 浩輔 報告要旨(2020年度研究報告会報告要旨) 研究報告会

西武鉄道における従業員意識の変遷と日本的経営

-1950年代前後を中心に

渡辺のぞみ 一八世紀名古屋における呉服商伊藤家の相続と女性 松本日菜子 篠田 浩輔

フォトグラメトリによる石造物の資料化と公開

◆城郭だより 日本城郭史学会会報

〒174-8691板橋区板橋北郵便局私書箱50号 1至03-3967-1948 年6000円 1993年創刊

♦112 2021.1 A4 6p

首里城正殿大龍柱は正面向きか、相対向きか

――八七七年の写真では正面向く

新府城は未完成の城か 「新府城 本丸北門現地説明会」に参加して 向井 一雄 最近の城郭ニュースから1 吉田城址で池田輝政期の石垣発見/姫路

城中堀の石垣発見/唐沢山城跡石垣解体調査

最近の注目される城郭図書から 福田千鶴著『城郭の作法 一国一城 への道程』、竹井英文『東日本の統合と織豊政権』、宅間一之著『十 佐中つれづれ

最近の城郭ニュースから2 金沢城二の丸発掘調査から 目安箱(再録) 堀・濠・塹・館・隍

西ヶ谷恭弘

◆常民文化 成城大学常民文化研究会

〒157-0066世田谷区成城6-1-20 TELO3-3482-1181 1977年創刊 **♦44** 2021.3 A5 118p

インターネット時代における性的マイノリティの「名乗り」と「名付

けーインターセクショナリティと「ロマンティック」の観点から 荒木 生 製茶農家にみる家業継承構造―狭山茶産地の事例から 木村ひなの 伝承と創造性との関係―オカノモチ習俗への認識の制作過程から 佐々木涼成

水族館における飼育生物の供養について

―新江ノ島水族館を事例として 福田麻友子 人間の条件としての真正な社会 木下 聖三

◆杉並郷土史会史報

〒167-0022杉並区下井草3-12-9 新村康敏方 1973年創刊

http://www.sugi-chiiki.com/rekishikai/

◇286 2021.3 A4 10p 400円

聞き書き「荻窪の昔」(4) 畑山和子さんの話(カフェ DADA)/Kさ

んの話/中田和夫さんの話/平岡美民さんの話(西郊ロッヂング)

/中津一郎さんの話

新倉 毅

紅葉ウィーク二〇二〇 こがねの水をもとめて 引率・説明・文責 伊東勝

◆西郊民俗 西郊民俗談話会

〒112-0005文京区水道2-3-15-403 小池淳一方 年2000円 1957年創刊 http://seikouminzoku.sakura.ne.ip

♦ 254 2021.3 B5 35p

八王子における子育て呑龍の信仰

佐藤 広

茨城県小美玉市竹原の権現様の祭・庚申塚祭・椿山稲荷神社例祭・八

日様

近江 礼子

「庭銭」「念仏講」(念仏銭)とは何か一葬送をめぐるムラ人の互助の形 井田 安雄 東日本大震災における民間企業のオフィス復旧対応の記録

一発災直後からの仮復旧まで

印出 隆之

川崎市中原区市ノ坪東福寺不動尊の巡行習俗

清水 亨桐

人は何と「縁」を切りたいのか(2)

ーテキストマイニングを利用した縁切り絵馬の分析から

高橋 成

◆せたかい通信 世田谷区誌研究会

〒156-0045世田谷区桜上水3-12-13 新川陽一方 TELO3-3302-4575 年2000円 2005年創刊 http://fsv.setagava-kushiken.jp

◇4月号 2021.3 B5 2p

令和3年度活動報告/4月以降の講演会・史跡散歩の案内

東日本大震災 2011年3月11日午後2時46分

あの日、あのとき/想定される大規模地震

大塚 勝利

大勝庵 玉電と郷土の歴史館

大塚 勝利

◆全国歴史資料保存利用機関連絡協議会会報

〒253-0106神奈川県高座郡寒川町宮山135-1 寒川文書館 1至0467-75-3691 http://www.jsai.jp

♦109 2021.3 B5 36p

《公文書館機能普及セミナーin 鳥取特集号》

セミナーテーマ「公文書館機能を考える。鳥取からの発信」

開館行事 開会あいさつ

石尾 和仁

基調講演 わが町にアーカイブズができたなら

- 寒川文書館の業務と役割

髙木 秀彰

報告

琴浦町における公文書管理と評価選別の取組・課題

山田 明

鳥取県における県と市町村が連携した歴史公文書等保存活用の取組

田淵香緒里

シンポジウム パネラー 髙木秀彰・山田明・田中健一/司会 加藤聖文 閉会行事 閉会あいさつ 鳥取県総務部長 亀井一腎 終了後のアンケートより

調查·研究委員会事務局

第23期(令和元・2年度)調査・研究委員会の活動と公文書館機能普及

セミナー

宮田 克成 志水 栄介

「公文書機能普及セミナー in 鳥取」に参加して 「公文書機能普及セミナー in 鳥取」に参加して

谷中 童浩

◆**大道芸通信** 日本大道芸・大道芸の会

〒157-0061世田谷区北烏山2-3-9-101 光田憲雄 1至03-3307-2146 http://daidogei.info

◇350 2021.1 A4 2p 100円

肥後熊本の海中に アマビエ現る

『熙代勝覧』が載せる生業(13) 辻駕籠/小間物売り(右)と定斉屋 **/野菜売り/露店の野菜売り/豆腐?売り(不知)/小芋売り?/** 野菜売り

♦351 2021.2 A4 2p 100円

疫病を送る 疫病を祓う赤絵(当時疫病には赤色の絵が効くと信じ られていた)(『奇態流行史』)

『熈代勝覧』が載せる生業(14) 魚に合う野菜を選ぶ男と露店の野菜 売り 露店の野菜売り/火事と喧嘩は江戸の…/燗酒を売る屋台/ 手前から 魚仕入れ、棒手振、そして不明だが厨子を背負う六十六 部?

◇352 2021.3 A4 2p 100円

ヨゲンノトリ(予言の鳥)

煎じ物売り

『熙代勝覧』が載せる生業 雪駄直し/貸本屋/鮨売り/付木売り/ 猿廻し(猿曳き)/煙管売り/さんげさんげ/ことぶれ/鳥刺し

◆多摩地域史研究会会報

〒207-0033東大和市芋窪4-1735-1-103 梶原方 1991年創刊 http://tamatiken.web.fc2.com

♦144 2021.2 B5 8p

例会報告 第109回例会 清瀬における沿線開発と幻の清瀬駅 中野 光将 日野市西平山 昭和初期の撚糸工場―水車撚糸から電動式撚糸へ 上野さだ子 大会おすすめ書籍 近藤義郎著『前方後円墳の時代』/大田区立郷土

博物館編集・発行『土器から見た大田区の弥生時代一久ヶ原遺跡発

見、90年 梶原 勝

◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団

〒186-8686国立市中1-9-52 12042-574-1360 年600円 1975年創刊 http://www.tamashin.or.ip

♦181 2021.2 A5 106p

《特集 水の生きものたち》

多摩川の鱼たち 橋本 浩 福生周辺、八王子滝山周辺の水環境の生きもの 野村 亮 ロックガーデンと大栗川の水生生物一川と森からのメッセージ 宮田 浩 かいぼりを涌して見た井の頭池の魚類 佐藤 方博 多摩川中下流部の生きものと関わって 榎本 正邦 川と海が出会うところ 多摩川河口の四季 佐川麻理子 宮下 力 多摩の水生昆虫

洋風建築への誘い(70)

煉瓦の煙突に、一四時二二分御着 田村酒造場(福生市) 伊藤 龍也 建物雑想記(65) 建築的☆酒蔵めぐり 酒井 哲 多摩の金融史(15) 明治・大正期の第三十六銀行 早川 大介 多摩の歴史を立体視!―赤色立体地図の風景 8

赤色立体地図から見た滝山城 西股 総生

本の紹介

日野の古文書を読む会編『古文書で読む多摩川・浅川と日野 軌跡

TV [多田 仁一 大友 一雄

武蔵野文化協会編『武蔵野事典』

◆伝 え 日本口承文芸学会

〒168-8508杉並区大宮2-19-1 高千穂大学 立石展大研究室 TELO3-3317-4077 年4000円 1987年創刊 ko-sho.org

♦68 2021.2 B5 8p

イソップに学んだコロナ禍の一年

花部 英雄

第78回研究例会「中近東・韓国・日本における子どもに手渡す物語」

の報告

繁原 央

特集:語り手の会の報告

コロナ禍の中で語りをどう追求したか

立石 憲利

伝承の語り手・渡部豊子女と「新庄民話の会」の活動

談·渡部豊子/記録·注 米屋陽一

◆東京産業遺産学会 NEWSLETTER

〒174-0046東京都板橋区蓮根2-29-10 新蓮根団地105 多田統一方 MO3-3964-8548/〒352-0011埼玉県新座市野火止4-8-43 柚須紘一方 MO48-479-7490 年2000円 http://tias3.web.fc2.com

♦147 2021.3 A4 6p

日本遺産-横須賀市「逸見波止場衛門|

文·写真 白石健一

2021年度総会・研究大会および特別講演会開催 2021年度産業考古学会総会/研究大会 多田統一会員「産業遺産情報センターの教育的活用|/特別講演

本総会の重要な議事でもありました会の名称変更について中川会員か

らの投稿 なぜ急ぐ?学会名改称

中川 洋

小野組築地製糸場はどこに?

文・長野恭彦

文献紹介 『東京カイシャハッケン伝 GUIDE 20』 東京都産業労働

局雇用就業部就業推進課編集・発行

多田 統一

茨城県常陸太田市の赤煉瓦建築物(1) 旧稲田家住宅赤煉瓦蔵(1)

文·写真 八木司郎

◆東京大空襲・戦災資料センターニュース

〒136-0073江東区北砂1-5-4 政治経済研究所 TELO3-5857-5631 年2000円 2002年創刊 http://www.tokyo-sensai.net

♦38 2021.2 A4 12p

「老後」の夢の行方

吉田 裕

「東京大空襲を語り継ぐつどい」をオンラインで開催します

新型コロナウイルス感染症の影響について/新型コロナウイルス感染症拡大に伴う当面の見学について/新刊 紙芝居『三月十日の約束』

早乙女勝元脚本・伊藤秀男絵 夏休み特別企画をオンラインで開催!

比江島大和

特集 新しくなった展示の紹介(後編)

展示の導入部分(1階)比江島大和東京空襲の概要(1階)比江島大和

空襲の歴史年表(1階) 比江島大和

初空襲、初期空襲(2階「空襲の実相」コーナー内) 石橋 星志

いのちの被災地図(2階「空襲の実相」内) 石橋 星志

仮埋葬(2階「空襲後のあゆみ」コーナー内) 石橋 星志 戦災孤児(2階「空襲後のあゆみ | 内) 比江島大和

戦争による食糧難(2階「空襲後のあゆみ」内) 千地 健太

補償運動(2階「空襲後のあゆみ|内) 石橋 星志

空襲記録運動、センターの成り立ちと平和へのメッセージ

(2階「空襲後のあゆみ」内) 石橋 星志

資料の寄贈/来館者アンケートから/感想ノートから

追悼 鎌田十六さん 「500人のお母さん」だった十六さん 二瓶 治代

◆日本民俗音楽学会会報

〒190-8520立川市柏町5-5-1 国立音楽大学 山本幸正研究室気付 TEL042-590-0223 http://www.s-ifm.org

♦54 2021.2 B5 26p

巻頭言 疫病流行を機に獅子踊りを復活したいという話など 星野 紘 調査・研究委員会 オンライン研究例会を開催して 萬 司

第9回研究例会発表要旨

18世紀イタリアにおけるソルフェッジョ教育―ジュゼッペ・アプリ

ーレ「36曲のソルフェッジョ」の分析から 田中 樹里

民俗芸能の伝承支援

ー青森県東津軽郡平内町藤沢地区の獅子舞囃子を事例に 下田 雄次

第9回研究例会発表余話

「わらべうたと童謡の旋律の比較分析」の今後の課題 河瀬彰宏/髙木優貴

呼ばれる神様、呼ばれない神様 黒田清子/伊野義博

第9回研究例会発表を終えて 山本 真弓 研究発表を終えて 田中 樹里

活動報告 民俗芸能の伝承支援

一青森県東津軽郡平内町藤沢地区の獅子舞を事例に 下田 雄次 特集「疫病と民俗音楽 |

「新型コロナウイルス感染症における全郷芸会員の現況調査 | 結果に

ついて
小岩秀太郎

 芸能の「場」について感じたこと
 甲地 利恵

 疫病と民俗音楽―原点にみる近似
 松本 晴子

 疫病と民俗音楽―あまびえの舞を舞う
 入江 宣子

 京都の六斎念仏 コロナ禍の中での実施状況

藤田 加代

やめられなかった硫黄島の芸能 荒木 真歩

2020年度 役員選挙報告 2020年10月31日(土) 開票

2020年度 日本民俗音楽学会総会報告 岡部 芳広

会員の広場

小島美子・藤井知昭記念日本民俗音楽学会賞をいただいて 伊野 義博 民俗音楽学者としての佐々木正太郎さん 小島 美子

事務局からのお知らせ 会員の動向(入退会担当 磯田三津子)/会計

常置委員会からのお知らせ

からのお願い(会計担当 寺田真由美)

 機関誌編集委員会
 山本 陽子

 調査・研究委員会
 萬 司

 行事企画委員会
 河瀬 彰宏

◆練馬区地名研究会会報

〒176-0014練馬区豊玉南3-24-4 飯塚芳男方 TeLO3-3992-0264 年2500円 1987年創刊

♦129 2020.12 B5 4p

広重が描いた風景画の魅力を探る

- 『名所江戸百景』は江戸最後の風景

西島 幸夫

◆民衆史研究 民衆史研究会

〒162-8644新宿区戸山1-24-1 早稲田大学文学学術院 大日方研究室内 1962年創刊

◇100 2021.2 B5 116p 1750円

巻頭言 『民衆史研究』100号に寄せて

大日方純夫

特集 民衆史の名著を読み直す

特集にあたって 民衆史研究会委員会

吉田孝『律令国家と古代の社会』と近年の律令制研究 神戸 航介 いま、佐藤和彦の学問と向きあう 赤松 秀亮

2020年の課題と塚本民衆史―『都会と田舎』を読み直す 小田 真裕

民衆史研究における方法と課題史

一色川大吉『明治精神史』をめぐる史学史的再検証 藤田 貴十 書 評

映画史と民衆史のあいだ一藤木秀朗著『映画観客とは何者か一メデ

ィアと社会主体の近現代中

花田 史彦

鬼嶋淳『戦後日本の地域形成と社会運動 生活・医療・政治』

源川 真希

広瀬玲子『帝国に生きた少女たち一京城第一公立高等女学校生の植

民地経験-

由 鎬

松田英里『近代日本の戦傷病者と戦争体験』

郡司 淳

展示評 国立歴史民俗博物館 特別展示「ハワイ 日本人移民の150年

と憧れの島のなりたちし

秦 文憲

新刊紹介

三谷芳幸著『大地の古代史 土地の生命力を信じた人びと』 原田 華乃 黒田智・吉岡由哲編著『草の根歴史学の未来をどう作るか』

近藤 絢音

総目録 『民衆史研究』総目録 (創刊号~第100号)

神奈川県

◆馬の博物館研究紀要 馬事文化財団・馬の博物館

〒231-0853横浜市中区根岸台1-3 根岸競馬記念公苑 Tm045-662-7581

1987年創刊 http://www.bajibunka.jrao.ne.jp

◇22 2020.12 B5 76+12p

炭焼きと馬追い―中村一幸『奥三河、南信州に生きた越前炭焼きとそ

の息子』より

村井 文彦

馬の博物館蔵「庭前調馬図」について―狩野了承の画業を中心に 佐倉牧における野馬の生産と生態

柏峿 諒 金澤 真嗣

日本中世の馬関係文献目録

長塚 孝

◆神奈川県立公文書館だより

〒241-0815横浜市旭区中尾1-6-1 TELO45-364-4456 1994年創刊 https://archives.pref.kanagawa.jp

♦44 2021.3 A4 4p

東日本大震災から10年

デジタル文書時代の公文書

髙崎 保幸

公文書管理のあらたな時代へ

「認証アーキビスト | 制度がスタートしました!

立石えり子

新型コロナウイルス時代を記録する

◆かまくら女性史の会 Newsletter

〒248-0012鎌倉市御成町18-10 NPOセンター鎌倉気付 メールボックス26 2013年創刊 https://kanagawajoseishi.jimdofree.com

♦81 2021.2 A4 2p

伝えることと伝わること

石崎 和子

シリーズ:私たちの「戦争体験」(5)

空襲前後の長崎屋の人々(2)

前田 セツ

「#わきまえない女たち」の一人として

(曽原)

♦82 2021.3 A4 2p

緊急事態宣言下でひそかに楽しんだ

本多 順子

シリーズ:私たちの「戦争体験」(6) 空襲前後の長崎屋の人々(3)

前田 セツ

◆コロス 常民文化研究会

〒254-0016平塚市東八幡2-8-20 西海賢二方 年1000円 1979年創刊

♦164 2021.2 B5 6p

三遠信美流れの結節点-限界の山村暮らしから(12)

史料紹介 信仰の拡大を求めて一武節町村と稲橋村を訪ねた宗教的

職能者たち

西海 賢二

高木 秀彰

◆寒川町史研究 寒川文書館

〒253-0106高座郡寒川町宮山135-1 TELO467-75-3691 1988年創刊

♦32 2021.3 A5 111p

特集 町制施行80周年

特集にあたって

『寒川町史』編さんと文書館 圭室 文雄

公文書を残すということ
小川千代子

寒川町80年のあゆみ 平尾 直樹

展示記録「寒川町の80年」 寒川文書館ウェブサイト 鳥養 圭美

資料紹介「町制10周年のメッセージ」 高木 秀彰

小特集 相模海軍工廠と湘南中学校

相模海軍工廠と湘南中学校生徒の視点一高松宮日記を援用して 内海 孝 蒲田均さん聞き書き 聞き手・内海孝

資料紹介 塩澤榮一「回顧録」

展示記録 特別展「記録にある流行病」 寒川文書館ウェブサイト 高木 秀彰 表紙解説 手はいつ洗わなければならないか(『広報さむかわ』昭和 31年5月号)

◆首都研ネットワーク 首都圏形成史研究会

〒231-0021横浜市中区日本大通3 横浜開港資料館気付(吉田律人・西村健) TelO45-201-2169 年3000円 http://shutokenshi.org

♦88 2021.2 B5 4p

研究例会 第116回例会 松本洋幸『近代水道の政治史―明治初期か ら戦後復興期まで一』(2020年、吉田書店)合評会 書評者:稲吉晃・ 中村元 リプライ:松本洋幸 討論:司会・高橋修一/次回の研究 例会 2021年度総会·第117回例会

情報ネットワーク 展示会情報!

新刊紹介 市川市中歴中編IV編集委員会『市川市中 歴史編IV 変貌 する市川市域』(市川市、2020年) 松本 洋幸

◆民具マンスリー 神奈川大学日本常民文化研究所

〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1 1至045-481-5661 年3500円 1968年創刊

◇635 (53-11) 2021.2 A5 24p 350円

山形県白鷹町所有民具の整理作業について

守谷英一・石井紀子

縣敏夫の民具研究―シリーズ 民具と出会う10

神 かほり

民具短信 表札と標語印一日式表札の成立と越境・拾遺

角南聡一郎

♦636 (53-12) 2021.3 A 5 24p 350円

「たにし人形」の造形力一郷土工芸品「かすみ人形」の展開 萩谷 良太 書籍紹介

日本民具学会編『民具学事典』

櫻井 進也

川崎市立日本民家園編集・発行『うんことくらし―便所から肥やし

まで 泉水 英計

マンスリー掲示板 国立アイヌ民族博物館 第1回テーマ展示 収蔵 資料展「イコロー資料にみる素材と技一」/ 京都府立山城郷土館 展示図録43『京都スタイル―民具で巡る多文化京都―』

第53巻総目次

日本常民文化研究所 2020年度活動報告より

新潟県

◆観 賞 新潟文化財観賞会

〒950-0852新潟市東区石山3-12-19 斎藤寿一郎方 TeL025-286-1740 年4000円 **♦42** 2021.2 A 5 88p

史実と伝説―親鸞と七不思議をめぐって 井上慶降 「あんだ送り」攷 後藤 一雄

日本唯一無二の「国絵図」『越後輿地全図』とその系譜

一全国で最多種類刊行の国絵図の縮写版 亀井 功

新潟県における神仏分離と文化財保護

-新発田市高志王神社旧蔵の毘沙門天像をめぐって 杉山 巖 伊勢御師の定着について 山上 卓夫 幕末・明治初期のコレラの流行と医師二階堂保則 杉山 節子 資料紹介 薩州軍出立につき助郷の依頼 中村 義隆

◆高志路 新潟県民俗学会

〒950-0916新潟市中央区米山3-1-31-1101 金田文男方 TELO25-241-9402 1935年創刊 https://fsnp.mints.ne.ip

♦419 2021.3 A5 50p

家屋・住まいの民俗(前編)-家屋は暮らしのハードウエア 佐藤 和彦 小千谷市平成町「ミコジイ」が踊る「大津絵」、報告 坂井 美香 蓮潟の民俗―市街地による環境の変化、神社を中心にして 岩野 笙子 越後の鹿島神について 金田 文男 羽下大化直筆の俳句六句 岩野 笙子 書評 木坂本に光を当てた「越後の和本」を読む 高橋 実 令和二年度 秋の談話会記録 大楽 和正

追 悼

五十嵐稔さんの民具研究 津山 正幹 大沼淳氏を悼む 佐藤 和彦

遺稿 廻国、漂泊の彫仏堂「木喰仏の信仰民俗」 広井 忠男

小報告 明治初年の神社合併と戸籍編製/質問 十二講の弓うち 金田 文男

表紙写真 六日町畦地新田 十二講の弓うち 撮影:金田文男

昭和56年3月12日

◆良寛だより 全国良寛会会報

〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文化博物館新潟分館内

Tel025-222-2262 1978年創刊

♦172 2021.4 A4 16p

「良寛と童」(富川潤一・画) とみかわ・じゅんいち (明治40年~平成7年) (出雲崎町 良寛記念館所蔵)

リレーエッセイ 良寛つれづれ(21) 色青く面やせたる僧に惹かれる

細川 護熙

良寛遺墨鑑賞(20) 扇面和歌 こどもらと

小島 正芳

各地良寛会だより(13) 長岡良寛会の巻

安達 武男

良寛190回忌記念 第43回全国良寛会玉島大会(オンライン大会)ご案

内/全国良寛会玉島大会(オンライン大会)・開催形態のお知らせ

円通寺に白華観音と弥勒さんの二尊仏 器楽堂ゆう子

相馬御風の良寛(21) 農民への思い

金子善八郎

良寛を今に伝えた人びと(2) 橘茂世 忘れ得ぬ人びと(3) 柳田聖山先生と中国 本間 明

永青文庫「心のふるさと良寛Ⅱ」に寄せて

加藤 僖一 小島 正芳

良寛の人間性に思う 山岸楽斎と幸田文祭(下)-文祭と文泰 中川 幸次 山上 健

良寛こころの歌(中)

吉井 和子

長岡藩主牧野忠精公の良寛訪問はあったのだうか

竹内 登

トピックス 感染対策を徹底しコロナ禍で「しばた良寛講座」を開催

吉井 清一

新刊紹介

『うたた良寛伝〜玉島円通寺物語〜』器楽堂ゆうこ子著

吉井 清一

『寂静 小柳喜實 遺稿集』小柳有紀・佐藤恵理編 私家版

柳本 雄司

良寛を訪ねて(21) 国上寺と良寛さん

吉井 清一

富山県

◆富山史壇 越中史談会

〒930-0115富山市茶屋町33-2 富山県公文書館内 TeL076-434-4050 1954年創刊 https://shidankai.web.fc2.com

◇194 2021.3 A5 82p 1300円

『乙夜之書物』に記された本能寺の変―宥照寺の光秀塚と明智左馬助 萩原 大輔

越中国布市藩庁の位置一「大平山輿国禅寺中興記」を読む

松山 充宏

室町期般若野荘地頭地方の代官支配の変遷

亀ヶ谷憲史

越中国における中世「コの字形十塁」の構築とその性格

高岡 徹

史料紹介 富山県外所在の聖教奥書にみえる越中の中世寺院三題

一大浦保福円寺·大袋庄高寺之御作堂·般若野卜野談義所 杉崎 貴英

令和二年度研究発表大会発表要旨

松井 広信 R言語を利用した京都系土師器皿の研究

室町期般若野荘地頭方の領主 亀ヶ谷憲史

近世越中国における舞々(陰陽師)について 奥田 直文

最近の地方史情報 飛山健太郎

◆とやま民俗 富山民俗の会

〒930-0881富山市安養坊56甲-1 富山市民俗資料館内 年4000円 1974年創刊

♦95 2021.1 A5 28p

新潟県佐渡市 両津大川の鳥追いの特色 後藤麻衣子

伝承されている菖蒲叩き 白岩 初志

森 俊

富山県魚津市古鹿熊民俗岨抄(6) 一クラの民俗

昭和三十年代、奥山の橋の作り方 - 南砺市(旧福光町)刀利村、下小屋の場合 加藤 享子

石川県

◆日本学研究 金沢工業大学日本学研究所

〒921-8501石川郡野々市町扇が丘7-1 〒1076-248-1100 1998年創刊

♦ 23 2020.12 A5 198p

高御座の一考察―中臣寿詞「天都日嗣の天都高御座」の検討から 佐野 真人

平泉 紀房 豊宮崎文庫の蔵書目録について

大学講義のオンライン化における一試行

--基礎教育科目「日本学A(日本と日本人) | の場合 村本 美香

「日本文学の世界」シラバス再構築―オンデマンド型授業づくり 石川 倫子 史 料

宮内庁宮内公文書館所蔵「皇室経済ノ概要」

川田 敬一

熱田神宮編年史料(稿本) 中世十五 藤本 元啓

福井県

◆若越郷土研究 福井県郷土誌懇談会

〒918-8113福井市下馬町51-11 福井県立図書館内 1510776-33-8860

年3500円 1956年創刊

♦311 (65-2) 2021.2 B5 44p

『国吉籠城記』における朝倉軍の侵攻年次について

「南越雑話 | (7) ― 翻刻と現代語訳

含蔵寺の所在地の再検討

河村 昭一 「南越雑話 | 輪読会 池田 正男

長 野 県

◆飯田市歴研ニュース 飯田市歴史研究所

〒395-0803飯田市鼎下山538 TEL0265-53-4670

http://www.citv.iida.lg.jp/soshiki/39/201700601.html

♦110 2021.2 A4 4p

史料紹介 元善光寺(如来寺)の出開帳

羽田 真也

中料から読む 「王子製紙バラ狩り騒動」

太田 仙一

龍江支所文書調查報告

太田 仙一

リレーミニエッセイ(20) 飯田から見えた明治4年のオーロラ 池田 勇太

♦111 2021.4 A4 4p

歴史研究所第5期中期計画がスタートします。

募集します 市民研究目候補募集/2021年度申請 研究助成募集/飯

田歴研賞2021候補作品募集

市民研究員の紹介 竹村雄次さん(市民研究員)

お世話になりました

原 英章

新刊紹介 『史料で読む飯田・下伊那の歴史2 川路のあゆみ―近世 から近代へ』 歴史研究所編集・発行

◆伊 那 伊那史学会

〒395-0081飯田市宮ノ上4048 〒10265-22-6017 年5500円

◇1113 (69-2) 2021.2 A5 50p 550円

口絵 江戸時代に描かれた名勝天龍峡の龍角峯一今田村絵地図から 山内 尚巳

古文書が示唆する世界一旧駒場村医者の系譜から広がる歴史 下原 恒男

江戸時代の火事と村人―雲雀沢村と下市田村の場合 塩澤 元広 歌誌『夕樺』と下伊那青年運動(4) 清水 迪夫

「たいざ | 考(2) 今村 理則

下伊那日録 2015(平成27年)10月~12月 寺田 一雄

◇1114 (69-3) 2021.3 A5 50p 550円

口絵 清水寺の由緒を受け継ぐ千手観音菩薩 織田 顕行

高須藩の御用金賦課と村方騒動(4) 伊坪 達郎 歌誌『夕樺』と下伊那青年運動(5)―『夕樺』の戦後史(1) 清水 迪夫 上郷飯沼 丹保耕地の成り立ちと、苗字・家名 岡田 勉 「たいざ | 考(3) 今村 理則 思い出の昭和(15) 昔は当たり前に見られた伊那谷の鳥 原田 望 下伊那日録 2015(平成27年)12月~2016年4月 寺田 一雄 **◇1115** (69-4) 2021.4 A5 50p 550円 口絵 諏訪本社大明神と黒部銑次郎 北村 尚幸 医干川福徳寺本尊仏考―薬師如来か阿彌陀如来か 中島 正韶 江戸時代の病気と人びとの対応(上) 一雲雀沢村伊藤治左衛門の日記から 塩澤 元広 スペイン・インフルエンザと羽場赤坂の庚申塚 前澤 健 旧派俳句会に見る下伊那の大正文化 竹村 雄次 南信州の古代の森林と古木群を探る 寺岡 義治 伊那谷地名研究会発足20周年記念大会 記念講演『民俗信仰と地名研究の提言』 講師・金田久璋 伊那谷地名研究会発足20周年 記念大会盛会の開催 原 董

◆伊那路 上伊那郷土研究会

〒399-4501伊那市西箕輪3180 山口通之方 1至0265-73-5538 年6000円

◇**769** (65-2) 2021.2 A5 40p 500円

《「上伊那郷土研究交流の集い」特集》

令和2年度上伊那郷土研究交流の集い報告 福澤 浩之 「上伊那郷土研究交流の集い」の歩み 山口 通之 「交流の集い in みのわ」に参加して 大槻 敏子 「上伊那郷土研究交流の集い」に参加して 鳥山千代子 伊那路の山と笠原「牧」の地名考(上) なかむら信行

伊那市が取り組む古い地名調査(20)

19「古い地名調査」はふるさと再発見(2) 竹松 亨

上伊那にある、奥三河石工が彫った石仏・石塔について(4)

その他の墓塔・奥三河にある上伊那石工の石仏 伊折 俊夫 古文書の窓(157) 天保の凶作、年貢の検見取りを願う 小口 恵子

図説・上伊那の民俗(44)

古寺のハナヅクリ(伊那市東春近下殿島古寺)三石 稔徒然さんぽ(19)曹洞宗金剛山明音寺 箕輪町 絵と文・吉田勝美

◇770 (65-3) 2021.3 A5 40p 500円

「坂戸橋」国の重要文化財指定への道のり 安富 郁男 みんなに愛される坂戸橋に 氣賀澤厚典 伊那市の小沢川に架かる橋ものがたり 矢島 信之 「お庚申仲間」の今一羽広地区、庚申組アンケートより 原 泰 安政国役御普請(3)

安政国伎岬音前(3)
 一御目論見・御見分中および御丁張・御仕立ての中の諸入用 春 賢太郎 根岸派歌人 桃澤茂春の望郷のうた 桃澤 匡行 伊那谷のツグミの仲間一民俗は窓を通して(40) 吉田 保晴 古文書の窓(158) 鳴物等御停止中の不祥事のお詫び 下平すみ子 文化短信 『上伊那教育会研究紀要 第42集(令和2年度)』刊行 山口 通之 図説・上伊那の民俗(45) 厄落し(飯島町七久保新田) 三石 稔 徒然さんぽ(20) 曹洞宗金剛山蔵澤寺 駒ヶ根市 絵と文・吉田勝美

◆伊那民俗 柳田国男記念伊那民俗学研究所

〒395-0034飯田市追手町2-655 飯田市美術博物館内 TeL0265-22-8118 年3000円 1990年創刊 http://inaminkenhome/blogspot.jp

♦121 2020.6 B5 8p

表紙 焼けた法被(櫻井撮影)/下清内路の手づくり煙火(南信州阿智

村清内路煙火等資産化実行委員会提供) 櫻井 弘人 南信州煙火の信仰的意義—疫病防除と五穀豊穣祈願 櫻井 弘人 飯田城赤門と疱瘡 近藤 大知 アマビエ流行にみる予祝と連帯 今井 啓

叢書4が『自治体学』で書評

文責・松上清志

♦122 2020.9 B5 8p

表紙 喪主と柩(拡大)/飯沼丹保の野辺送り(明治41年、岡田博達氏

提供) 北原いずみ

飯沼丹保の歴史と地名

岡田 正彦

報告 特別例会 折口講座 「霊魂の話」を読む

今井 啓

報告 通常例会発表要旨(6、7月) 6月27日 松上清志会員「清内路 集落の水事情」、片桐みどり会員「飯沼区の機業 大坪勇さんの場

合」/7月25日 今井啓会員「おまん様の誕生―下伊那最古の疫病送

り」、岡田正彦会員「飯沼の歴史―原始から中世へ」
文責・今井啓

書評 櫻井弘人著『民俗芸能の宝庫―南信州』(伊那民研叢書5)

伊藤 好英

♦ 123 2020.12 B5 8p

表紙 猿面/遠山霜月祭(和田タイプ)の猿舞 櫻井 弘人 猿と疫病退散の民俗―庚申と遠山霜月祭の猿舞を中心に 櫻井 弘人

- 34 -

報告 通常例会発表要旨(9~11月) 9月例会 北原いずみ会員「清内路の墓制・葬制」、中島正韶会員「上郷飯沼郷地名考 湛え「神ノ木」ミシャグジを探る」/10月例会 宮下英美会員「豊穣祈願の予祝行事」、近藤大和会員「神道日記にみる伊東家」/11月例会 櫻井

弘人会員「三信遠の霜月神楽と天龍川―天竜川水系と諏訪信仰」 文責・今井啓 新刊紹介 野本博一著『採集民俗論』 松上 清志

♦124 2021.3 B5 8p

表紙 面の舞を簡略化した八重河内の霜月祭(近藤撮影)/コロナ禍で

の遠山中学校「郷土の舞」(遠山中学校提供)

近藤 大知

コロナ禍における南信州の祭りと民俗芸能

櫻井弘人/近藤大知

特別例会 折口講座 「田遊び祭りの概念」を読む

小川所長講義要旨

宮下 英美

研究所へのご支援に感謝申し上げます

松上 清志

岡庭 圭佑

報告 通常例会発表要旨(2020年12月~2021年2月) 12月例会 松上 清志会員「民俗報告書にみる下伊那の養蚕」、寺田一雄会員「上殿 岡の民俗―居住地区で民俗の変容を考える」/2月例会 粟谷真寿美 会員「明治期松尾小学校の児童議会より―「場の代表」制について」、 今井啓会員「飯沼の民俗調査から―飯沼区有文書調査を中心に|文責・今井啓

◆伊那民俗研究 柳田国男記念伊那民俗学研究所

〒395-0034飯田市追手町2-655-7 飯田市美術博物館内 Tel.0265-22-8118 年3000円 1990年創刊 http://inaminkenhome.blogspot.jp

♦ 28 2021.3 A 5 169p

《伊那民俗学研究所創立30周年記念特集号》

研究所創立30周年記念論文 日本の民俗学と伊那民俗学研究所 福田アジオ

「天竜川水系・伊那谷の民俗を考える」特集

伊那谷の民俗をどう捉えるか 小川 直之

天竜川流域の民俗芸能―その分布が意味すること 櫻井 弘人

天竜川水系南部の民俗芸能一遠州の念仏踊り、霜月祭、おくない 伊藤久仁俊 西浦田楽の伝承と構造 近藤 大知

長野県における厄落とし習俗 米山 梓

調査ノート 遠山郷上村地区における祝い唄習俗と婚礼

◆市誌研究ながの 長野市公文書館

〒380-0928長野市若里6-6-2 1994年創刊

http://www.city.nagano.nagano.jp/naganoarchives/

◇28 2021.3 A4 239p 1500円

南宮遺跡における豪族居宅の出現と変遷―南宮遺跡の消長の中で 鳥羽 英継

「戌の満水」後における「寛保改革」の取組みと原八郎五郎 小林 佳枝 諏訪大工・立川家作の仏壇と彫刻 水野 耕嗣

明らかになった弘化四年善光寺地震の余震活動

一驚異的な発生回数と地震史料の記号化を探る 山浦 直人

赤田村奨新学校(後編)―明治初頭の「近代」を探る 田中 薫

 善光寺本堂向拝柱の根巻金物と東京美術学校
 宮澤 政太

 宮大工・宮彫師 山嵜儀作の神楽屋台
 草間 律

戸隠神社火之御子社参道としての立道と杉並木について

田辺智隆/中村千賀/林部直樹

村の都市化と生活リズムの変化 倉石 忠彦

長野市内主要4河川の珪藻植生一汚濁指数について 落合 照雄

敵は上から攻めてくる一信濃の城と道、武田軍の城攻め 町田ゆかり

史料紹介

『赤倉日記』に書かれた佐久間象山と松代城下 北澤 忠雄

松田家文書所収「中秋姨捨山賞吟」について

--松代藩士入貞営の姨捨山観月記録 中島 丈晴

巻頭グラビア

浦賀紀行図 甲巻 伝高川文筌筆 渡辺いずみ

「新町風景」 横井弘三 前澤 朋美

善光寺本堂立面図(長野市域の社寺建築史料③) 宮澤 政太

豊野町の漁具 樋口 明里

長野市内主要 4 河川の珪藻植生 落合 照雄

令和2年度 長野市公文書館新収蔵資料より

令和2年度 新収蔵資料目録 令和2年度移管「長野市役所文書」

◆信 濃 信濃史学会

〒399-0036松本市村井町南1-28-35 年10200円 1回263-58-1213

http://www.shinano-shigakukai.jp

◇**853** (74-2) 2021.2 A5 82p 1150円

室町幕府奉行人諏方信祐の生涯―その肖像賛語をめぐって 村石 正行

昭和初期恐慌期における村財政の具体像(後編)

一更級郡信田村を事例として 田中 薫

史料紹介

国民軍徴兵と西南戦争の電信資料―上田市公文書館所蔵文書 倉澤 正幸 エリ穴遺跡の石鏃風評 桐原 健 **◇854** (74-3) 2021.3 A5 82p 1150円 《特集 追悼 竹内誠氏》 敬愛する先輩竹内誠さんを悼む 森 安彦 竹内誠さんを感謝を込めて追悼する 一「また、どこかで」とつぶやきながら 上條 宏之 竹内誠先生のご逝去を悼んで 髙木 俊輔 竹内誠先生、お世話になりました 福島 正樹 竹内誠先生とのこと 西澤 安彦 竹内誠先生との出会い 柳澤 哲 竹内誠先生を偲んで 徳嵩 雄司 不肖のデシを許してください 土屋 浄 教育とは人に良い影響を与えるということ 清水 祐三 謹んで竹内誠先生のご逝去をお悼みします 吉沢 誠 竹内先生を偲ぶ 立沢 和樹 竹内誠先生に教えられたこと 三井 隆典 深謝~忘れられない竹内先生のお姿・言葉 中村 芳人 竹内誠先生に学んだ 小松 芳郎 竹内誠先生に頂いた学恩を想う 山﨑 哲人 竹内誠先生を偲ぶ 太田 秀保 人を育てた竹内先生 後藤 芳孝 松代藩真田家の類別に関する一考察―真田家家格研究の導入として 水野 聖也 会務報告 長野県教委への要望書提出「災害時の文化財・歴史資料の 救護体制についての要望書 |



*元江戸東京博物館長で、2020年9月に86歳で亡くなった竹内誠氏の追悼特集号。 竹内氏は1933年東京日本橋に生まれ、東京教育大学(現筑波大学)に学んだ。1967 年に徳川林政史研究所の主任研究員から信州大学教育学部・人文学部(併任)助教 授に転じたが、在任期間は短く、1970年には東京学芸大学に移った。しかし、両 親が長野県出身であったことや、その縁故疎開で長野県内の小学校を卒業したこ となどもあってか、東京学芸大学では長野県学校教員の内地留学受入れに尽力し、 また、長野県史の基本方針を立案する専門委員会委員など、長野県との関りを終 生強く持った。

信州大学の教え子の一人で、長野県内で小学校教員、校長を務めた清水祐三氏は、学生時代の実地演習のおりに飲酒による不祥事で一時研究室追放を受けたこと、教職に就くことに迷っていると懇談の機会を設けてくれて、教育とは何かとのとの問いかけに、「人によい影響を与えること」との言葉をもらい、その後、教育現場を歩く指針、人生観になったこと、新任の小学校に無償でかけつけて保護者のために講演をしてくれたこと、内地留学の支援や、亡くなるまで郷土研究の手引きをしてもらっていたことなど、竹内氏の温かい人柄と教育者としてのあるべき姿を感銘深く綴っている。編集後記によれば、信州大学で教えを受けた人たちがこぞって追悼文を寄せているとのことで、若き学徒に大きな影響を与えたことが分かる。

また、元信州大学教授で長野県短期大学学長の上條宏之氏は、竹内氏が信州大学に赴任する2年前に『長野県教育史』、赴任した1968年は『長野県史』『長野県政史』が発足したことから、竹内氏から様々な提言を受けたことや、関係の委員として力量を発揮し、多くの新鮮な刺激を与えられたことなどを紹介している。

◆千 曲 ふるさとに学ぶ 東信史学会

〒386-0024上田市大手2-7-13 上小教育会館内 1510268-24-2182

年3000円 1974年創刊

♦ 174 2021.2 A5 64p

《特集号 明治維新その2》

『延喜式』の塩野神社は、保野か西前山か 櫻井 松夫

明治維新

上田地域における地租改正と徴兵制度の一考察 東信地方における基督教の受容と木村龍二(2) 郷土随想 千曲河原の変貌 連載講座 古文書解読講座 第165回 原写真と解説 上田市指定文化財(史跡) 二子塚古墳 倉澤 正幸

◆長野 長野郷土史研究会

〒380-0905長野市七瀬南部14-7 TeL026-224-2673 年4000円 1964年創刊 http://www.janis.or.jp/users/kyodoshi/

◇318 2021.4 A5 93p 800円

口絵・表紙解説 須坂市と高山村の聖徳太子絵伝/表紙 聖徳太子絵 伝に描かれた善光寺縁起(高山村 徳正寺蔵)/裏表紙 長野市妻科

神社の絵馬 撮影・長野郷土史研究会

姥捨山小考 矢羽 勝幸

長野市・長沼の薬種商・蚕種商

――茶の頰杖を伝えた半田要太郎 中村 敦子

長野市妻科神社の御柱祭絵馬 小林 一郎

要科神社の四神像一二人の妻科出身の名工による競作 草間 律 木曽義昌の子供 志村 平治

終戦時、真島と青木島の両国民学校に駐留した、航(空)第542部隊(特

攻隊)の航空燃料集積所・貯蔵壕跡について 土屋 光男

横山、押鐘など伝統ある地区名を生かして運営される長野市の小学校

教育一北部平野部25校 小林竜太郎

七道制一東山道を中心に

読んで歩いた長野(5) 柳田國男の「信州随筆」(1)

小尾 登 栢木 希望

長野と全国各地の繋がり(15) 聖徳太子絵伝に描かれる善光寺縁起 小林 玲子 生きた町の歴史を知ろう(21)

長野における「郷土史研究会」 その100年の伝統を未来へ 小林竜太郎

出版 『長野駅東口街づくりの歴史』長野駅東口地域街づくり対策連絡協議会発行、『木曽伊予守義昌』志村平治著、『奥信濃の宝 鬼無里 土倉文殊堂』ふるさと草子刊行会編、『神社と神楽―牟禮神社の場合』伊藤勉著・発行、『まんが 飯綱今昔物語』小山丈夫原作

◆長野県民俗の会通信

〒384-2104佐久市甲135 田澤直人方 TeL0267-88-6927 年5000円 http://nagano-minzoku.chu.jp

◇282 2021.3 B5 12p

道祖神とサエノカミ 木下 守 入笠山山麓の水環境 下平 武

第223回例会に参加して

「上田市八日堂の蘇民将来符頒布習俗」見学会の感想 三沢枝美子 葉書でつぶやくコーナー 墓石、高さを競う 倉石 忠彦 長野県民俗の会第224回例会のご案内 安曇野市豊科郷土博物館主催 企画展「安曇野の外来動植物さんぽ~身近な自然から学ぶ~」見学

◆長野市公文書館便り

〒380-0801長野市箱清水1-3-8 長野市城山分室内 TeL026-232-8050 http://www.city.nagano.nagano.jp/naganoarchives/

♦41 2020.4 A4 2p

「鐘鋳堰組合文書 | を初公開

資料紹介 昭和42年飯綱高原スキー場が出来た頃の「広報ながの」の 表紙です。

♦42 2020.7 A4 2p

スペイン・インフルエンザの大流行

古文書紹介

「長野停車場権堂間新設道路千歳町開通式はな火の図」(古180-1)

♦43 2020.10 A4 2p

『広報ながの』原本の移管と公開/電子文書の整理・保存・公開へ 図書紹介 お菊さんが…大変!

♦44 2021.1 A4 2p

第1回文献史料保存活用講習会の開催 令和2年10月29日

古文書紹介 第二次世界大戦末期の軍事郵便

石坂家文書(古202-40、古202-11)

岐阜県

◆郷土研究岐阜 岐阜県郷土資料研究協議会

〒500-8368岐阜市宇佐4-2-1 岐阜県図書館内 1元058-275-5111 年2800円 1973年創刊 http://www.library.pref.gifu.lg.jp/dantai/kyosilen/k_index.htm

♦135 2021.3 B5 28p

岐阜の地名発祥は土岐氏の時代一岐蘇川と五山文学の平仄 井澤 康樹

「京道又湊道」と中山道、そして、現在 黒田 隆志

丸山幸太郎

美濃国山県郡高富町天王町「山口彌重文書|資料その二 松尾 降

蓑虫山人再脚光

書窓の風

岐阜 岐阜城天守の発掘調査 内堀 信雄

加茂 『守りたい加茂の豊かな自然』の刊行 可児 光生

東濃美濃源氏と戦国時代と東濃地方
小嶋泉

新刊紹介

可児市明智光秀関連企画展図録『明智光秀物語』の発行 長沼 毅 『岐阜県の祭り・行事』の刊行 横井 等

郷土関係新刊書目録(120)

郷土関係逐次刊行物文献目録(118)

◆岐阜市歴史博物館だより

岐阜市歴史博物館 〒500-8003岐阜市大宮町2-18-1 岐阜公園内 TEL058-265-0010/加藤栄三・東一記念美術館 〒500-8003岐阜市大宮町1-46 TEL058-264-6410 1985年創刊

♦107 2021.2 A4 8p

表紙 重要文化財 舎利容器 一式 縄生廃寺(三重県)出土 奈良時 代 文化庁蔵

特別展「壬申の乱 | / 木簡は語る

企画展「ちょっと昔の道具たち」

加藤栄三・東一記念美術館「開館30周年ぎふしん記念財団助成事業 加藤栄三・東一記念美術館名品展 |

館蔵資料紹介 刀 銘 濃州関住兼定作 室町時代後期 刃長62.3cm 反り19.7mm/加藤東一作「伝承」 号数: P25号(61.0cm×80.4cm)

制作年:昭和57年(1982)

イベント後記 NHK大河ドラマ特別展 麒麟がくる 連歌イベント 連歌実作会〜現代によみがえる「ときは今」

博物館ニュース 「麒麟がくる 岐阜 大河ドラマ館」が終了

静岡県

◆赫 夜─カグヤ 富士山かぐや姫ミュージアム博物館だより

〒417-0061富士市伝法66-2 TEL0545-21-3380

http://museum.city.fuji.shizuoka.jp

♦ 77 2021.2 A4 4p

「新収蔵品 富士山コレクション展」

高林 晶子

展示室(2) 富士山の玉手箱

こどもと富士山 展示会報告

内田 昌宏 成瀬 陽介

鳥瞰図にみる富士 展示会報告

木ノ内義昭

コロナ禍とこれからの博物館

瀬浪 和美

岳南電車コラボ「ふじかぐちゃん名月号」

◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8526静岡市駿河区谷田52-1 静岡県立大学国際関係学部 森山優研究室 年4000円 https://shizuokakenkindaishi.wordpress.com

♦ 509 2021.2 A4 4p

2月例会レジュメ 明治0~10年代の地域社会における多数決制議会

の開設とその波紋一浜松県民会・静岡県会を事例に

伊故海貴則

刺青師彫千代と静岡の旧幕臣宮崎立元・駿児

桶口 雄彦

♦510 2021.3 A4 4p

3月例会レジュメ [

昭和十五年静岡市牛妻地区における町内会の実態と変遷

飯塚ひかる

3月例会レジュメⅡ

陸軍士官学校での教育経験と戦場における実践経験

中川 玲奈

やきもち・嫉妬と日本学術会議

羽間 昭夫

♦511 2021 4 A 4 4p

4月例会レジュメ ラウンドテーブル・生煮え研究会:コロナ禍だか らこそ「人に迷惑をかけるな」を考える一通俗道徳の歴史的考察

◆静岡県地域史研究 静岡県地域史研究会

〒412-0043御殿場市新橋1891-1 厚地淳司気付 年4000円 2011年創刊 **♦10** 2020.9 A5 134p

第10号刊行記念 『静岡県地域史研究』第一〇号の発刊にあたって 小和田哲男 シンポジウム記録「近世・近代転換期における天竜川沿岸地域と金原

明善|

趣旨説明 シンポジウム「近世・近代転換期における天竜川沿岸地

基調報告論文

一橋大学附属図書館所蔵「金原家文書 | 解説

伴野 文亮

金原明善と天竜川の水防・治水

渡辺 尚志

治河協力社附属水利学校の研究 金原明善伝記編纂における史料と叙述 伴野 文亮 淺井 良亮

コメント 近世近代移行期の天領川治水事業と「非領国」「藩領国」

- 渡辺・伴野・淺井報告について

今村 直樹

討論記録

今川義元の三河侵攻と吉良氏

本多 隆成

中世後期の駿河の荘園制と武家権力

廣田 浩治

朝鮮涌信使の涌行と三島宿

十屋比都司

◆静岡県地域史研究会報

〒412-0043御殿場市新橋1891-1 厚地淳司気付 年4000円 2011年創刊

♦235 2021.2 B5 4p

「宿城」ということ 土屋比都司 今川国氏と「引馬庄」 小林輝久彦 12月例会報告要旨 今川氏と葉梨荘―駿河守護をめぐって 森田 香司

◆静岡県民俗学会誌

〒424-0053静岡市清水区渋川1-9-6-101 1977年創刊

http://web.thn.ip/s-folklore/

◇33 2020.12 B5 61p 1000円

静岡県民俗学会創立40周年記念事業報告

平成26年度大会記念講演

富十への祈願一人々は富十山に何を願ったか 菊池 邦彦 平成26年度大会自由討論会

伊勢志摩の富士参りの歌と駿府浅間社―西からの富士参詣 荻野 裕子 狸和尚の伝説と富士講の降盛 大嶋 善孝 富士御殿場音頭の誕生 渡辺 好洋

平成27年度創立40周年記念大会記念講演

富十の御山参詣―富十禅定から富十参りへ 堀内 直

富士参詣曼荼羅にみる富士山表口の信仰空間

一静岡県側の富十山信仰の特質 大高 康正 荻野 裕子 志摩沿岸からの富士参詣―修験系富士講の富士への祈願

新刊紹介(富士山に関わる新刊と2014・2015年度の新刊紹介)

中山正典『富十山は里山である』 松田香代子 有坂蓉子『ご近所富士山の謎』 大嶋 善孝 二本松康宏監修『水窪のむかしばなし』 大嶋 善孝 静岡県教育委員会文化財保護課編『沼田の湯立神楽』 川口 円子 静岡県にかかわる民俗学関係文献目録(2014・2015年度) 大嶋 善孝

◆静岡歴研会報 静岡県歴史研究会

〒422-8045静岡市駿河区西島363-55 篠原旭方 TELO54-286-8659

♦159 2021.3 B5 8p

第129回研究会 大畑縁郎氏の「〔十辺舎一九〕について | の概要/篠 原旭氏の「竹取物語、羽衣伝説、そしてナウマン」の概要/桜井明 氏の「「天正期駿府城天守台発見で何が判るか」について「の概要

愛知県

◆岩瀬文庫だより 西尾市岩瀬文庫

〒445-084西尾市亀沢町480 TEL0563-56-2459 2004年創刊 https://iwasebunko.jp

♦67 2020.12 A4 4p

岩瀬文庫企画展 『新編西尾市史 資料編2 古代・中世』刊行記念 吉良氏800年祭「西尾の古代・中世一吉良荘と吉良氏の光芒」

次回予告 岩瀬文庫企画展「悪霊退散」/「ひなまつりスタンプラリーラリー」参加企画 岩瀬文庫のミニミニひなまつり

第15回にしお本まつり 文芸コンクール入賞作品 短歌部門 応募作品183首、俳句部門 応募作品293句、川柳部門 応募作品376句

蔵書紹介 『〈末代噺語〉掃寄草紙』(155-146) 3冊

蓮台道士著 安政5(1858)年刊

表紙の写真『〈末代噺語〉掃寄草紙』(155-146) 3冊 蓮台道士著 安政5(1858)年刊/表紙のカット 『本草図説』(45-11)より 椿・牛 高木春山著 嘉永5(1852)年 195冊

◆郷土文化 名古屋郷土文化会

〒466-0064名古屋市昭和区鶴舞1-1-155 名古屋市鶴舞中央図書館 TEL052-741-9822 年3000円 1946年創刊

◇235 (75-2) 2021.2 A5 98p 1500円

桶狭間合戦 信長の進軍経路

桶狭間合戦にかかわる峠の一考察--「沓懸の峠の松」について

桶狭間古戦場調査報告に尋ねる

天聴に達した円空の徳音(郷土に誇る人間円空さん考)

尾張の俳句(3)

吉村為降研究

太田 輝夫

菊池 敏雄

7910 44

尾畑 太三

伊藤 治雄

大野 哲夫

松本雄一郎

◆新編西尾市史研究

〒445-0847西尾市亀沢町480 西尾市岩瀬文庫内 西尾市教育委員会事務局 文化振興課 西尾市史編さん室 TeLO563-56-8711 2015年創刊

◇7 2021.3 A4 98p 700円

口絵 『牧野日記』 個人蔵/名倉誾一郎著『海藻調査報告 第二』 あかもく 西尾市岩瀬文庫蔵/緑のジュウタンに覆われる佐久島 地域社会の近代化と農民の "日常"

一幡豆郡幡豆村七番組『牧野日記』をとおして(完) 愛知県打瀬網漁業と「朝鮮通漁」一明治30年代から大正初期まで 資料紹介 西尾藩領長縄村観音院の清康公墳墓発掘について 調査報告

岡田 洋司 長谷川健二 小林輝久彦

スジアオノリ、ヒラアオノリ等海藻の名付け親、名倉誾一郎氏一愛 知の海藻・プランクトン研究に大きな足跡を残した愛知水試の嘱

託員

阿知波英明

災害とくらし―西尾における災害碑等の悉皆調査より

伴野 義広

◆新編西尾市史だより

〒445-0847西尾市亀沢町480 西尾市岩瀬文庫内 西尾市教育委員会事務局 文化振興課 西尾市史編さん室 TracO563-56-8711 2015年創刊

♦ 7 2021.2 A4 8p

後田遺跡出土の七面の鏡について

野澤 則幸

こちら考古部会です。

加藤 安信

資料紹介 宮崎村文書

安藤 幸子

主な活動記録(令和2年4月~令和3年1月現在) 編さん委員会/編集委員会/考古部会/古代・中世部会/近世部会/近・現代部会/自然部会/美術工芸・建造物部会/民俗部会

『新編西尾市史 資料編2 古代・中世』刊行記念行事 『新編西尾市 史 資料編2 古代・中世』刊行記念 吉良氏800年祭「西尾の古代・中世一吉良荘と吉良氏の光芒」

◆まつり通信 まつり同好会

〒496-8049愛西市塩田町砂山25 1至0567-37-0441 年5000円

http://www.wa.commufa.jp/matsuri/

◇611 (61-1) 2021.1 B5 8p 600円

長滝白山神社 六日祭 延年・花奪い

1月6日 岐阜県郡上郡白鳥町 撮影:田中育樹

表紙写真のことば 長滝白山神社 六日祭 延年・花奪い

1月6日 岐阜県郡上郡白鳥町

田中 育樹

「民間念仏信仰の研究」の構想(1)

坂本 要

愛知県知多「朝倉の梯子獅子」奉納の神社例祭日の変遷と地域の生業

変化 牧野 由佳

民俗芸能情報/学会・研究会情報/資料紹介 東京文化財研究所無形 文化遺産部『無形文化遺産の新たな活用を求めて』 まつり同好会六○周年記念行事について **◇612** (61-2) 2021.3 B5 8p 600円 表紙写真のことば

鹿取神宮御田植祭 千葉県香取市香取 4月第1土日曜 坂本 要 「民間念仏信仰の研究」の構想(2) 坂本 要 愛知の祭礼習俗「オマント」の二態とその分布境界地域について 田中 青樹 新刊紹介 中野英治著『写真集 「平家物語」祭りの世界』

◆MIXED MUSES 愛知県立芸術大学音楽学部音楽学コース紀要 〒480-1194長久手市岩作三ヶ峯1-114 愛知県立芸術大学音楽学部内(東谷研 究室) ™0561-62-1180 https://ai-arts.repo.nii.ac.ip

♦16 2021.3 A5 104p

昭和後期の福岡の筑前琵琶史一筑前琵琶保存会発足と嶺旭蝶 山本百合子 「山菜のピアノでうたいましょう」

-1930年の《国産愛用の歌》をめぐって 占領期日本におけるポピュラー音楽文化 井上さつき 東谷 護

愛知県立芸術大学音楽学部‧愛知県立芸術大学大学院音楽研究科博士

前期課程 令和2年度(2020年度)卒業論文・修士論文要旨

◆もりやま 守山郷土史研究会

〒463-0075名古屋市守山区市場15-12 道木正信方 1m052-791-2304 年3000円 1982年創刊

♦40 2021.3 B5 158p

口絵 明治九年「守山村 地引絵図」から

東山、井坂、桑島、鳥羽見、塚本、宮地

明和四年・矢田川左岸大洪水の机上実験の試み 加藤 武彦 矢田川・庄内川の砂利採取と土地造成 伊東 重光 『もりやま』への感謝 徳田百合子 守山に落ちたB29目撃談 赤井 美枝 資料紹介 守山村白山神社郷蔵文書 道木 正信 資料紹介 村井杢次郎日記抄三(完) 道木 正信

もりやま既刊号目次(第31号~40号)/執筆者名 索引

守山郷土史研究会の歩み(40)

変貌する瀬戸線(12) 荒川 康彦

三重県

◆皇學館大学研究開発推進センター紀要

〒516-8555伊勢市神田久志本町1704 TEL0596-22-6466 2015年創刊 http://www.kogakkan-u.ac.jp

♦ 7 2021.3 A4 237p

講 演

令和元年度皇學館大学研究開発センター神道研究所公開学術講演会

奈良・平安時代の太上天皇

中野渡傍治

『日本書紀』を語る一『日本書紀』撰上千三百年記念に寄せて 史料編纂所 シンポジウム 令和元年度皇學館大学研究開発センター神道研究所公

開学術シンポジウム 皇位継承を考える 基調講演 所功氏/発

題 岡田莊司氏・藤森馨氏/司会 佐野真人氏

基調講演 皇位継承を考える一令和大礼の成果と課題

所 功

発題一 大嘗祭研究について一平成と令和の大嘗祭を終えて

岡田 荘司 藤森 馨

相互討論

発題二 平成時代の神璽観

資 料

(川)

日本後紀史料(稿)一延暦十四年

中料編篡所

尾崎八東「修学旅行日記摘要」(明治三十二年)·神宮皇學館「本科探究録」(明治三十三年)一神宮皇學館修学旅行日記·満鮮旅行記

仮殿遷宮の研究―薗田守良の論説を中心に

堀川 秀徳

皇學館大学研究開発推進センター

◆皇學館大学研究開発推進センター年報

〒516-8555伊勢市神田久志本町1704 TEL0596-22-6466 2015年創刊 http://www.kogakkan-u.ac.jp

◇7 2021.1 A4 157p *事業報告のみ

◆三重県史研究 三重県環境生活部文化振興課歴史公文書班

〒514-0061津市一身田上津部田3060 三重県総合博物館 3 階 ™ 1059-253-3690 1985年創刊

♦36 2021.3 A5 56p

口絵 石水博物館所蔵「藤堂家覚書|

藤堂藩陪臣の人生儀礼について一藤堂采女家家臣沢家を事例に 藤谷 彰 資料紹介 石水博物館所蔵「藤堂家覚書」の紹介と分析 桐田 貴史 資料紹介 桑名市博物館寄託佐々部家文書「旧記」 歴史公文書班

書 評

『三重県史』「通史編 中世」 稲葉 伸道 『三重県史』「通史編 近世 2 | 深谷 勝己

県・市町史編さんの動向

『新編朝日町史』資料編 1 考古·文化財·民俗 竹内 弘光

◆三重の古文化 三重郷土会

〒514-2305津市安濃町清水1008 浅生悦生方 TEL059-268-2671 年4000円 1947年創刊

◇106 (通147) 2021.3 A5 188p

平安末期写経に見る神仏習合の一側面

一特に荒木田忠延と二門家の場合石井 昭郎紀州藩松坂領の寺子屋について松村 勝順田中家文書と『族籍変更願及無足人沿革概要』森川 正美七白山の信仰と歴史辻本 豊村田孫兵衛と永田善次郎一本居宣長母の実家再考2鵜川 貞二志摩市遺跡地図の志氐神社古墳について辻 直樹史料紹介 津観音寺の「鬼押」史料浅生 利治

新刊紹介

藤谷彰著『桑名藩家臣団と藩領社会』

神宮司庁著『図解 伊勢神宮』

石神 教親

追悼 尾鷲地域の歴史・自然資料の発見に尽くした田崎通雅氏を悼む

駒田 利治

三重県における人柱伝説の諸相一天カ須賀例をどう受けとめる

久志本鉄也

伊東富太郎の足跡(11)-『桑名日記』 其壱 第五福竜丸事件と三重県内の関連する記録 石神 教親

『二手旧中』短々ノ東要の幼生に収む。マ

田中喜久雄 吉村 利男

『三重県史』編さん事業の終結に当たって 「見聞闕疑集 | を繙く

海 利务 章治

史料翻刻 「水府君上書之写」他見禁

三重郷土会古文書勉強会

新聞記事から-2020年

下村登良男

滋賀県

◆湖国と文化 びわ湖芸術文化財団

〒520-0806大津市打出浜15-1 1至077-523-7146 年2520円 1977年創刊

http://www.biwako-arts.or.jp

◇175 (45-2) 2021.4 B5 88p 600円

《特集 最澄-1200年の懐》

プロローグ

カラーグラビア 最澄の言葉

解説 · 木内堯大/写真 · 寿福滋

最澄の生涯と教え

小堀 光實

最澄が残したもの

不滅の法灯~最澄が残したもの 「不足」が生んだ豊饒 大久保良峻

最澄の融合主義が生んだ深遠 天台の「思想と美の森」

久保 智康

今を生きる最澄

戦乱の地で貫いた「一隅を照らす」 中村哲という生き方 中原 興平

十二年籠山行とは一最澄の理念実践、最澄に仕える

最下鈍の者も十二年を経れば必ず一験を得る

宮本 祖豊

インタビュー 湖と生きる 「十二年籠山行」満行 宮本祖豊さん

籠山20年、最澄の覚悟と戦いを伝える 聞き手・三宅貴江/写真・中村憲一 もっともっと最澄

心を一乗の帰すべし 言葉に見る最澄

木内 堯大

最澄の「国 | と「民 | 「守護国界 | からのアプローチ

井上 優

近江の懐(16) 和瀬 榎の宿

藤樹さんの伝説と熊澤蕃山

加藤 賢治

和濔の道標カバン

石川 亮

近江の黎明(1) 相谷熊原遺跡から探る縄文の世界

鈴鹿の山裾、目覚めたヴィーナス

松室 孝樹

カラーグラビア

琵琶湖 センスオブワンダー 湖と人とが織りなす歴史と今(1)

鳥を通してつながる世界と琵琶湖 文・亀田佳代子/写真・オザキマサキ 祭の美 祈りのかたち(9) 和濔祭の御供(大津市和濔中 天皇神社)

清らか、湖水で米研ぐ「白おこわ」

写真·文 川島朱実

万葉の旅人(8) 我妹子にまたも近江の安の川安眠も寝ずに恋ひ渡る

かも(巻一二-3157 作者不明(曲))

文と曲・林博通/画・鈴木靖将

歴史の玉手箱(19) 戊辰戦争の記憶 譜代大名から維新の功労者へ

慰霊の場に残る、彦根藩の変遷

大月 英雄

森が来た道(7) やまの健康と「森林・林業 + X | のすすめ ぶらり近江はっけん伝(16) 旧高島町

水田有夏志 岸野 洋

トムさんの日野暮らし(3)

日野祭 神と人、人と火とをつなぐ祭

トム・ヴィンセント

北から南から

地域の山とその恵み 守りたい伝統野菜 広めたいブランド 心の道標、朽木の奥山の暮らしを聞き書き 手乗りヤマガラに逢いに

野口将太郎 大塚佐緒里 長澤由香里 小松谷千絵

◆彦根城博物館だより

〒522-0061 彦根市金亀町1-1 〒1.0749-22-6100 1988年創刊

http://www.hikone-castle-museum.jp

♦132 2021.3 A4 4p

書斎の美一文房具愛玩

紫水晶鶏太鼓硯 当館蔵

展示案内 2021年3月~2021年6月 テーマ展 展示室1 書斎の美一 文房具愛玩、特別公開 展示室1 国宝・彦根屏風、特集展示 展 示室 6 資料調査事業完了記念 井伊家と近代彦根―井伊家近代文 書調査の成果より、テーマ展 展示室1 花々の意匠―四季を彩る 研究余録 金亀玉鶴

関東大震災の罹災品記録―山越富三郎の『刀剱押形』 古幡 昇子

京都府

◆大山崎町歴史資料館館報

〒618-0071乙訓郡大山崎町大山崎字竜光3 Tgt.075-952-6288 1995年創刊

◇24 2018.3 A 4 20p.

調査・研究報告26

五月一二日付、渡辺美作守・俣野但馬守連署状について

福島 克彦

♦ 25 2019.3 A4 20p

調査・研究報告27 「山城国紀伊郡淀城縮図」について 福島 克彦

♦ 26 2020.3 A4 20p

調査・研究報告28 慶長六年七月二五日付「片桐月元判物」について

福島 克彦

◆京都民俗 京都民俗学談話会

〒603-8301京都市北区紫野北花ノ坊町96 仏教大学歴史学部 八木透研究室気 付 151075-491-2141 年4000円 1984年創刊

♦38 2020.11 A5 118p

民俗芸能の習得における相互行為

一奈良県五條市の篠原踊りを事例として

伊勢における十七世紀の富士講と富士参詣

花街の記録―北野上七軒の無声映像を中心に 中原 逸郎

資料報告 『華城八景』をめぐる原画帖について

一大阪歴史博物館所蔵資料から 岸田 史生

書評 増崎勝敏著『現代漁業民俗論 漁業者の生活誌とライフヒスト

リー研究』 東城 義則

新刊紹介

八木透著『日本の民俗信仰を知るための三〇章』

岡本 真生

荒木 真歩

村上紀夫著『歴史学で卒業論文を書くために』

工藤紗貴子

丁藤 降彰

◆芸能史研究 芸能史研究会

〒602-0855京都市上京区河原町荒神口下ル上生洲町221 キトウビル303 TEL075-251-2371 年6000円 1963年創刊 http://www5b.biglobe.ne.jp/~geinoshi/

◇231 2020.10 B5 55p 1800円

史料としての戦国織豊期の寄合文化 鶴崎 裕雄

本阿弥一族と茶の湯

私の研究史─能楽・説話との六○年

一付録 昭和三○年代初め一学生の東京能楽体験記 田口 和夫 紹 介

『秋篠文化』第十二号 特集 大和の踊歌・祝歌 ほか (大和守)

天理市文化遺産活性化委員会編「大和神社ちゃんちゃん祭り調査報告

書」 (H·N)

永井猛・稲田秀雄・伊海孝充「鷺流狂言『宝暦名女川本』「盗類雑」

「遠雑類」翻刻」 (紅猫)

◆史迹と美術 史迹美術同攷会

〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入西大路町146 中西ビル内 Tm:075-462-4292 年8000円 1930年創刊 https://www.shibikai1930.com ◇**911** (91-1) 2021.10 A5 34p 918円

日本庭園・石造美術あれこれ(6) 庭園の蛇龍(上) 尼崎 博正 『高野山中覚日記』の紹介と翻刻 木下 浩良 百萬塔表面に途布されている塗装物質について 岡 成寛

第1069回例会 向日神社と長岡京市の文化財 矢ヶ崎善太郎

第51回「石造美術勉強会」報告 奈良県黒滝村と天川村を訪ねる 川西きみ子 新刊紹介 『図説 日本建築の歴史』矢ヶ崎善太郎編著 高井昭・小

出祐子・岡本公秀・野村彰著

◇912 (91-2) 2021.1 A5 34p 918円

日本庭園・石造美術あれこれ(6) 庭園の蛇龍(下)

尼崎 博正

「鴨川つけかえ説」再び(上)—横山卓雄「鴨川非つけかえ説」の不審 加藤 繁生 第1070回例会 円山公園周辺の文化財を巡って 加藤 友規

法隆寺講演会「国宝・法隆寺金堂の謎に迫る」開催

矢ヶ崎善太郎

♦913 (91-3) 2021.3 A5 36p 918円

「鴨川つけかえ説|再び(中)

一横山卓雄「鴨川非つけかえ説」の不審

加藤 繁生

高野山西南院の鎌倉時代砂岩製五輪塔群

木下 浩良

興福寺袴腰鐘楼跡発掘調査―建築史上初例になる?

村田 和義

◆立命館大学国際平和ミュージアムだより

〒603-8577京都市北区等持院北町56-1 12075-465-8151 1993年創刊

https://www.ritsumekan-wp-museum.jp/

♦82 (28-2) 2021.1 A4 4p

新年のご挨拶

吾郷 這一

地球時間

新任のご挨拶・展示資料紹介

金森 絵里

学生スタッフ 活動記録 2階展示学生スタッフ編

苑田 東郷

ボランティアガイドコラム

小野 房子

地階常設展 「時局防空必携|「待避所の作り方|

篠田 祐磨

ミニ企画展示 第136回「おなじ太陽のもとでーペルーへ日本人移民 の始まり一」、第137回「学徒出陣 林尹夫をさがして-1943-2021」

遊心雑記 手品と平和博物館

安斎 育郎

♦83 (28-3) 2021.3 A4 4p

平和をみつめて

吾郷 眞一

知らないことばかりの国際平和ミュージアム

市井 吉興

ボランテイィアガイドコラム

布川 庸子

学生スタッフ 活動記録

2階展示学生スタッフ編

中上 彩奈

メディア資料室学生スタッフ編

李 文強

WEB展示 https://www.ritsumeikan-wp-museum.jp/webexhibition/

遊心雑記 コロナ、来るな!

安斎 育郎

大 阪 府

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

〒596-0845岸和田市阿間河滝1425 井田寿邦方 1610724-28-0204

年1200円 http://www.eonet.ne.jp/~sanonokai/

♦398 2021.2 B5 12p

泉南の城郭と歴史的背景―土丸・雨山城を中心として(1)

西村 歩

「和泉國郡内畑村繪圖」を読む(3)

一水利環境を中心に (『会報』第三九四号に続く)

池田 雅治 二山 和美

現代語訳「食家と佐野と海」(6)

史料紹介 泉州の地誌(1) 藤田家文書「郷中村々高家数竈数人数寺社数帳」(1)

♦399 2021.3 B5 12p

泉南の城郭と歴史的背景―土丸・雨山城を中心として(2)

西村 歩

室町幕府中枢の動きと和泉(23) 九 信長・秀吉の登場(続)

(5) 信長滅亡へ(1581~82)

井田 寿邦

現代語訳「食家と佐野と海」(7)

二山 和美

武知 京三

史料紹介 泉州の地誌(2)

藤田家文書「郷中村々高家数竈数人数寺社数帳 | (2)

◆大阪の歴史 大阪市史編纂所

〒550-0014大阪市西区北堀江4-3-2 大阪市立中央図書館内 1m106-6539-3333 1980年創刊 http://www.oml.city.osaka.lg.jp/?page_id=871

♦90 2020.10 A5 114p 700円

《大阪市修史事業一二〇周年記念》

講演記録 大阪市史編纂所四〇年の思い出 堀田 暁生

大阪市修史事業一二〇周年を記念して

『新修大阪市史』の編纂に携わって 北崎 豊二

大阪市史編纂事業一二〇周年記念して 前田 豊邦

大阪市史編纂一二〇周年を祝して

『新修大阪市史』の断片

- 『新修大阪市史』編集、史料収集と保存について 植木 佳子

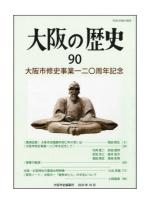
大阪修史事業一二〇周年に際して 堀田 暁生

大阪市史編纂事業・自治体史編纂事業の展望について 尾崎 安啓

事業の軌跡 関連資料の紹介/刊行物一覧

みおつくし 呼吸保護器(マスク) 中村 直人

川北 奈美



*大阪市の修史事業は、1901年(明治34)に大阪市参事会で議案「大阪史編纂二関スル件」が上程されたことに始まる。市史・自治体史の嚆矢である。『大阪市史』(編纂・刊行期間 1901~1915)の「編纂長」は、幸田露伴の弟の歴史家幸田成友であった。コピー機もなく、写真撮影も一般的でなかった時代に資料収集は並大抵でなく、執筆も幸田の超人的な努力で完成したものであったという。

これ以降、『明治大正大阪市史』(同 1927~1935)、『昭和大阪市史』(同 1948~1954)、『昭和大阪市史続編』(同 1961~1969)、『新修大阪市史』(同 1979~1996) と続いて今日に至っている。この合間にも、『大阪市史』編纂時に収集した史料を編年体で収録した『大阪編年史』(同 1966~1979)や翻刻刊行する史料集『大阪市史史料』(同 1980~現在)、さらに、『新修大阪市史』全10巻を1冊にダイジェストした『大阪市の歴史』(1999)と、それを幅広い年齢層向けに漫画化した『まんが版大阪市の歴史』(2006)など、120年に及んで連綿と続けられていることに驚かされる。

他の自治体に例のない、120年にも及んで切れ目のない修史事業の継続性を実現させているのは、地域の営みを正しく記録し、歴史に学んで次代に活かそうとする市の姿勢にあることは申すまでもないが、何よりその基盤となる事務局体制を堅固に整えていることにある。編集に当たる大阪市史編集室、改組後の大阪市史編集所、とりわけユニークなのは史料調査、収集、整理等をおこなう任意団体大阪史料調査会の存在であろう。非常勤職員ではあるが、若手研究員を登用し、編纂所事業の屋台骨を背負うまでになっているという。

現編纂所長の尾崎安啓氏は、「大阪市史編纂事業・自治体史編纂事業の展望について」で、永続的に事業をおこなったことで、膨大な情報が整理されているこ

とは、大阪市が世界に誇るべきことであるとし、「120年の間には日本史上にも稀な他国との戦争があり、また戦前戦後を通じた大阪の逞しい発展があった。こうした時勢の動揺にも負けず事業を継続してきた先人の思いを考えるとき、大阪市史編纂事業は継続し、さらなる発展を遂げていくべきだろう」と結んでいる。

◇91 2021.3 A5 96p 700円

南北朝内乱と摂津国所在の石造物の紀年銘

佐藤 悠

愛染堂勝鬘院に伝わる勝鬘夫人像・十一面観音菩薩像と女性の信仰 川北 奈美 明治前期に至る中興系大阪俳壇における気韻と雅興

一附・藤田雅笑蔵 蘇室久安『蕉風談』筆写本の翻刻 大正初年の変わりゆく大阪、武石浩玻飛行会と葬列をめぐって 小田 直寿

大正初年の変わりゆく大阪、武石浩功飛行会と発列をめくって みおつくし 関一 石原 佳子 小田 直寿

「歴史を未来に一大阪市修史事業120年のあゆみと収集史料」展の記録 新刊図書紹介

四代目旭堂南陵著『増補改訂版 事典にない大阪弁―絶滅危惧種の

大阪ことば一』

古川 武志

松岡弘之著『ハンセン病療養所と自治の歴史』 岩城卓二・高木博志編『博物館と文化財の危機』 小田 直寿

渡邊忠司著『近世徴租法成立史の研究』

尾﨑 安啓 吉川 潤

表紙 絵はがき「大阪中ノ島公園ヲ望」(古川武志氏提供)

◆大阪歴史懇談会会報

〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンティークショップ一兵内 1606-6931-1081 年5000円 1984年創刊 http://osakarekikon.cocolog-nifty.com

♦435 (38-1) 2021.1 B5 8p

巻頭言 神のおやしろのこと(57) とし神様と初詣

巻頭言 神のおやしろのこと(58) 阿倍野王寺神社

和久 敦也

会員の書評 『五重塔はなぜ倒れないか』(上田篤編 新潮選書) 評者・井川光正 ブック・インフォメーション 特集・歴史図書案内 『災害がほんと

ういり、インフォメーション 将来・歴史図音楽内 『灰音がねんと うに襲った時』一阪神淡路大震災50日間の記録 中井久夫、『心の傷 を癒やすということ』一大災害と心のケア(新増補版) 安克昌、『日 本人は大災害をどう乗り越えたのか』一遺跡に刻まれた復興の歴史

朝日新聞出版

♦436 (38-2) 2021.2 B5 8p

和久 敦也

会員の書評 『「司馬遼太郎」で学ぶ日本史』 (磯田道史著 NHK出

版新書) 評者・井川光正

ブック・インフォメーション 特集・歴史図書案内 『和気清麻呂』

(人物叢書) 平野邦雄、『和気清麻呂にみる誠忠のこころ』―古代より平成に至る景仰史 若井勲夫、『和気清麻呂』 久井勲、『和気清麻呂』 (岡山文庫190) 仙田実

◆大塩研究 大塩事件研究会

 この言葉(35)
 藪田 貫

 上方落語からみた『武士の町 大坂』
 高島 幸次

 古河藩大坂詰家中と大塩事件
 松本 充弘

 荻野流砲術家 鉄砲方与力 坂本鉉之助 名前入り火縄銃
 澤田 平

 高鍋藩日記に現れた大塩事件
 後藤 正人

11月野外フィールドワーク 野崎まいりの順路を歩き、史蹟から学ぶ

長尾 武

資料翻刻 「大塩平八郎一件 科書 写」(3) 大塩の乱関係資料を読む部会 大塩ゆかりの地を訪ねて(11) 「平野郷とどんどろ大師」 松浦 信輝 会員だより 島田 耕

◆かいづか文化財だより テンプス 貝塚市教育委員会

〒597-8585貝塚市畠中1-17-1 151.072-433-7126 1996年創刊

♦ 73 2021.2 A4 8p

表紙 国宝 孝恩寺観音堂

国宝 孝恩寺観音堂の歴史と特長/特別展「国宝孝恩寺観音堂(釘無 堂) 令和の大修理 I |

第121回かいづか歴史文化セミナー 講演会「ぽっかんさんの紀北遊覧をめぐって」

小学校巡回展示「東洋の魔女と1964年東京オリンピック」

貝塚みずま「お夏清十郎」歴史ガイド/はくふだまつり2020~貝塚場所

まちの駅かいづか「貝塚の民話」絵本原画展/清名台(せいなだい)に ある曲線を描く空き地一空中写真から見た不思議

古文書講座―市内に残る身近な古文書 ぼっかんさん紀の路を行く

◆近畿文化 近畿文化会

〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13 上本町YUFURA 7階 TEL06-6775-3686 年2200円

◇855 2021.2 A4 10p 300円

 東福寺の仏像
 神田 臥章

 天理の石棺仏と周辺の石造仏
 狹川 真一

◇856 2021.3 A4 8p 300円

紀三井寺の仏像―開創一二五〇年によせて 関根 俊一

東海道の港町・桑名

◇857 2021.4 A4 8p 300円

巨瀬谷を行く 森下 恵介

山科大塚・小山石切丁場と伏見城石垣 一瀬 和夫

◆近畿民俗 近畿民俗学会

追悼文

原泰根君を悼む 奥村 隆彦 原さんを偲んで 田中 官一 原泰根先生を偲んで 奥山 芳夫 原泰根先生の思い出 先生の『ペンネーム』 小藤 政子 原泰根先生のつぶやき 柳田洋一郎 原泰根先生を悼んで 佐島 隆 行俊 勉 原泰根先生を偲んで 大森 惠子 民俗学探究の特徴~花・沖縄・無形文化財など

民俗文化・古武道としての槍術の伝承・復元のあり方

一大阪宝蔵院流槍術の取り組みを中心に 前田繁則/小寺直樹/平野恭平知られざる地域文化と「まちづくり|一宝塚市西谷地区における在野

の国学者岡田惟平の事例から考える

白石 太良

京都の禹王信仰と禹王文化

植村善博/伊藤廣之

資料紹介 小島勝治資料

伊藤 廣之

大澤 研一

◆城だより 日本古城友の会

〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28 平川大輔方 151.06-6652-4511

http://www.kojyo-tomonokai.com

♦626 2021.2 B5 28p

1月・第687回例会の報告事項

山城の鳥瞰図を描いて 川端 義憲

三重県大河内城跡と北畠氏城館・霧山城を訪ねて

坂本 昇

♦627 2021.3 B5 20p

上田城と真田の城と史跡巡り

藤岡 秀典

未完の巨城「神指城」を訪ねて

下岡 力

別冊(B4 6頁) 第689回例会 大和 信貴山城を訪ねて 担当幹事:

水品弘樹・藤岡秀典 イラストレーション:香川元太郎氏

◆つどい 豊中歴史同好会

〒560-0054豊中市桜の町4-6-27-208 小川滋方 月1000円

1988年創刊 http://homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/

♦397 2021.2 B5 14p

樹木年輪からみた古代の気候変動(後編)

西川 寿勝

書評 水谷千秋著『日本古代の思想と天皇』

塚口 義信

図書紹介 前園美知雄・今尾文昭編『森浩一 古代史をつなぐ』

西川 寿勝

◇398 2021.3 B5 10p

三角板綴短甲から横矧板鋲留短甲へ

一古墳時代中期軍事組織変革とその意義

宇野 愼敏

史跡散歩 庄内式土器の発見地を訪ねる

古高 邦子

道上 祥武

◆ヒストリア 大阪歴史学会

〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学大学院人文学研究科

古市晃研究室気付 1951年創刊 http://www.historia-osaka.on.arena.ne.jp

◇284 2021.2 A5 123p 900円

特集 大県遺跡と古代の鍛冶生産を考える

特集にあたって
大阪歴史学会考古部会

鉄器生産工程に関する基本事項

大県遺跡における鍛冶技術 山根 航

交野市森遺跡の変遷 吉田 知史

八世紀鍛冶経営の一形態 北山 峰生

「大県遺跡と古代の鍛冶生産を考える」を承けて 安村 俊史

討論の記録 花熊祐基/道上祥武

安祥寺阿闍梨の歴史的位置―偽文書からみた古代安祥寺の変貌 佐藤 真海書評 岩田真由子著『日本古代の親子関係―孝養・相続・追善』 小林 理恵

新刊紹介 松田清著『京の学塾 山本読書室の世界』

辻本 雅史

報告

宮内庁書陵部との懇談(2020年度)

企画委員会

ウワナベ古墳(字和奈辺陵墓参考地)の発掘調査見学報告 山田暁/花熊祐基

委員会報告 第3回 於大阪市立大学文化交流センター小セミナー室 /第4回 於オンライン会議 吉武 直哉

◆枚方市史年報 枚方市教育委員会文化財課市史資料室

〒573-1159枚方市車塚2-1-1 枚方市立中央図書館内 TELO50-7105-8154 1996年創刊

◇23 2021.3 B5 66p

田中家文書「諸国鋳物師書上」(上) 橋本 貴明 海念寺・意賀美神社に伝わる彫像について 川北 奈美

净念寺・意賀美神社に伝わる彫像について 今中家文書「検地覚書」と楠葉村南組中井家

--幕領代官・代官手代の移動と行政知識 窪田 頌

◆民俗文化 近畿大学民俗学研究所

〒577-8502東大阪市小若江3-4-1 TRLO6-6721-2332 1989年創刊

♦32 2020.10 A4 302p

表紙・口絵写真 大和三山地域の鬼瓦

《近畿の民俗・文化》

やまと・まほろば・甍紀行

 一三山地域における近世鬼瓦の変遷
 第二部
 大脇
 潔

 天王寺公園のラジオ塔
 人見佐知子

和歌山県橋本市の盆棚 藤井 弘章

遺され村の美術展―インタビューを中心に 鈴木 伸二

越前国における明智光秀伝承の創出―東大味館(明智館)を事例に 新谷 和之

出羽に継承された二つの土人形

一相良人形と鵜渡川原人形に関する覚書 網 伸也

史料紹介 奉願上候口上覚(旧八塚家文書) 2019年度演習 I A 受講生・新谷和之書評と紹介

野本寛一著『生きもの民俗誌』 辻 貴志

伊藤廣之著『河川漁撈の環境民俗学 淀川のフィールドから』 俵 和馬

付録 民俗学研究所第三一回公開講演会(講演要旨)

東大阪の戦争遺跡から戦争と平和を考える 大西 進

東大阪市や周辺の身近な戦争遺跡から考えよう 太田 理

沖縄県八重山郡小浜島の民俗植物学 辻 貴志

兵 庫 県

◆あわじ 淡路地方史研究会

〒656-2334 兵庫県淡路市釜口2394-35 海部伸雄方 Tel0799-74-5810

年6000円 1984年創刊

◇38 (通54) 2021.2 B5 164p

《岡本稔先生追悼・淡路島の地震、津波等災害の歴史特集号》

はじめに 海部 伸雄

岡本稔先生追悼

淡路考古学の偉大な先駆者 岡本稔先生のご逝去を悼む 武田 信一

岡本稔先生のご逝去を悼む 海部 伸雄

研究と行動の軌跡-岡本稔先生をしのぶ 浦上 雅史

金田 匡氏

岡本稔先生を偲んで

淡路島の地震、津波等災害の歴史特集

史・資料に残された淡路島の地震の歴史―南海地震を中心に 海部 伸雄

絵図などで見る福良港の埋立て実績と高潮対策事業の成功

―海への進出と潮水との闘い 太田 良一

郷土誌等にみる災害と疫病

堀部るみ子 梶原景時の子孫、沼島城および高砂城の二つの梶原一族とその後 北山 學

淡路市仮屋・日田家住宅の調査概要 新谷 昭夫

戦国時代の淡路島と柳澤城主 庸田 晋也

藩校洲本学問所初代教官 藤江石亭の史実と「筆跡診断」による人間

像の考察 山下 勝康

あれから七十五年 谷池 锐彦



*2020年3月に91歳で亡くなった、元淡路考古学研究会会長で淡路地方史研究会

顧問の岡本稔氏を追悼する。

岡本氏は1960年に新見貫次氏ら5名で発起人となり、淡路地方史研究会を発足させた。さらに、1971年には淡路考古学研究会を設立し会長となり、淡路地方における歴史、民俗、文化財、考古学研究の基礎を築いた。2019年に両研究会は合併し、顧問となった。

岡本氏の研究業績は、浦上雅史氏が「研究と行動の軌跡―岡本稔先生をしのぶ」で、文末に岡本氏執筆文献などの参考文献リストを付して詳述するとともに、「草莽の考古学者」として、古代人の衣装を身に着けて古代米の栽培をしたり、塩づくりの体験講座に出向くなど、古代人に触れることの楽しさを実践し、古代世界を分かりやすく伝える努力をかさねた人間性も紹介していてほほえましい。 冥福を祈りたい。

◆こうべ空襲だより 神戸空襲を記録する会

岡村隆弘方

◇20 2021.2 A4 8p

第49回神戸空襲犠牲者合同慰霊祭

神戸空襲を記録する会 第5回刻銘追加式

「神戸大空襲」 復刻版の発売 2020年8月/神戸空襲を記録する会の

「戦災アーカイブコレクション」の構築に向けて

第50回空襲・戦災を記録する会全国連絡会議 オンライン大会 神戸市行財政局戦災関連資料展・埋蔵文化財センター神戸空襲展

◆神戸史談 神戸史談会

〒654-0151神戸市須磨区北落合4-26-6 佐藤憲太郎方 TEL078-793-5348 年3000円 1926年創刊

♦318 2021.1 A5 92p

口絵 1月例会記念写真/3月例会記念写真

表紙のしおり 万物生光輝「春になって何もかも多くの物がひかりを

新年例会 講演内容

発揮する|

画・小阪美道 加藤 隆久

令和二年新年例会 記念講演

光秀の時代と兵庫県-大河ドラマと地域史

田辺 眞人

令和の御大典奉祝記念展「絵図に残された即位礼と大嘗祭」 リポーター・佐藤 追悼 復刻(会誌279号・280号 平成9年1月・7月発刊)

布引滝三十六歌碑を辿る一現存する二十二基について

永瀬 巖

追悼 復刻(会誌302号 平成20年7月発刊)

追憶の遺産 神戸・深江文化村について一平成20年12月例会卓話 辻 正彦 ラフカディオ・ハーンの神戸 楠本 利夫 明治維新期の兵庫為替会社 太田垣忠興

令和二年七月例会・概要 真言宗・大本山・上野山・福祥寺「須磨寺|

『須磨寺・山内、界隈』 井上 勇

日本書紀私伝をめぐって一岡熊臣の著述による 加藤 隆久

知られざる松方コレクション 藤原 英信

兵庫 歴史人物静想 赤井(荻野)直正(1529~1578) 須田 京介

FMわいわい放送 音源ライブラリー「長田今昔ものがたり」その三

四十一話~六十話 ボーダレス 和田幹司・井上勇

雑 感 佐藤憲太郎

◆摂播歴史研究 摂播歴史研究会

〒676-0004高砂市荒井町千鳥2-23-12 121079-442-0658 1986年創刊

♦84 2021.3 B5 4p

赤松氏にみる相似形

◆地域史研究 尼崎市立地域研究史料館紀要

〒660-0825尼崎市南城内10-2 尼崎市立歴史博物館 地域研究史料室(あまがさきアーカイブズ) TELO6-6482-5246 1971年創刊

http://www.archives.citv.amagasaki.hvogo.jp

◇120 2021.2 A5 179p 850円

《尼崎市立歴史博物館開館記念号》

口絵 尼崎市立歴史博物館 常設展示室1 原始・古代/常設展示室2 古代・中世/常設展示室3 近世 I/常設展示室4 近世 I/ 常設展示室5 近代/常設展示室6 現代/地域研究史料室 あまがさきアーカイブズ/体験学習室

巻頭言

歴史博物館紀要刊行によせて

稲村 和美

神栄 赳郷

尼崎市立歴史博物館─三○年以上のときを経ての開館

松本 追

大江 篤

新・歴史博物館の概要

あまがさきアーカイブズ通信 Web版たどる調べる尼崎の歴史の公開 2019年度大学 COC + (歴史と文化領域)シンポジウムの記録「地域歴

史遺産の活用一新しい尼崎城下町を目指して一|

基調報告 歴史文化遺産と民俗学

報告1 文化財収蔵庫から歴史博物館へ 楞野 一裕

報告2 新しい尼崎城下町を目指して

―尼崎市立地域研究史料館からのコメント 辻川 敦 コメント 井上 舞

荒木村重の尼崎城「移」動

一検証『信長公記』「荒木村重書状」『立入左京亮入道降佐記』 砂川 博 校章・校歌が語る学校の歴史文化 島田 佳幸

史料編 尼崎の古代・中世―史料と研究 連載第7回 尼崎市史古代

·中世史料補遺(7) 天野忠幸/樋口健太郎

研究編 尼崎で起こりかけた宗論 天野 忠幸

史料紹介 尼崎市役所『最近四年間ノ事績 並将来ノ諸問題』

一九二四年(大正一三)(後半) 森本 米紀 田中 敦

あまおぶね連載(4) 辰巳八幡神社の庚申さん

◆西宮文化協会会報

〒662-0974西宮市社家町1-17 西宮神社内 TEL0798-33-0321

http://nishinomiva-ebisu.com/bunkvo/

♦635 2021.2 B5 8p

アガペ大鶴美術館 森田 正樹 古墳時代の堅杵の出土からみた高畑町遺跡 森下 真企 憧れのアンコールワット 奥 喜代孝 会員活動報告 『オリジナル格言公募』で全国入賞 中村 宏 **♦636** 2021.3 B5 8p

武地 秀実 えびすかき道中記 宇佐神宮編 宇佐神宮にてえびす舞を奉納 西宮神社社頭遺跡について―発掘された中世の町 瀬尾 品太 アフガニスタンの細密画展 森田 正樹

令和二年度 会報総目次

会員活動報告 『月刊日本橋・川柳大会』で全国入賞 中村 宏

◆東播磨 地域史論集 東播磨地域史懇話会

〒675-1224加古川市平荘町上原298-1 山本祐作方 Tm079-428-1055 1994年創刊

◇26 2020.10 A4 32p

「播磨風土記」の「海上交通を妨害する荒ぶる神」について 上月 昭信 東播磨のため池と伝説Ⅲ一八ヶ池と龍の鱗〈小野市〉 森本 眞一 加古川町公会堂-加古川の近代建築(1) 小林 誠司 人塚古墳浩り出し部採集の盾形埴輪 浅原重利/方利伸子

西条古墳群出土遺物の調査(地域活性化事業 経過報告)

東播磨地域史懇話会考古部会

◆LINK 地域·大学·文化

神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター年報

〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1 1至1078-803-5566 2009年創刊

http://www.lit.kobe-u.ac.jp/~area-c/

♦12 2020.11 B5 164p

特集 地域歴史遺産を未来につなぐために

-阪神・淡路大震災と、地域の取り組みから考える

特集にあたって

編集委員会(文責·井上舞)

阪神・淡路大震災を残すために

佐々木和子

阪神・淡路大震災の記録と記憶の継承に向けて

一大木本美通氏の記録写真を通して

吉川 圭太 石松 崇

一香美町無住化集落の場合 地域の歴史を伝える一中学校と連携して

大槻 守

史料紹介 明石市立文化博物館所蔵黒田家文書「戊辰年 出京心覚」 前田 結城 小特集 襖・屏風下張り文書の保全と活用一住民参加型事例を中心に

小特集にあたって

松下 正和

下張り文書研究一市民参加型事業の現状

尾立 和則

真田宝物館における襖下張り文書整理活動について 山中さゆり/小山万里 襖の下張り文書調査から知る郷土の歴史

一佐用郡地域史研究会の活動を通して

竹本 敬市

南九州における襖下張り文書剝がしワークショップでの市民参加に

ついて考える

山内 利秋

フィールドレポート

最近の住吉歴中資料館の活動について

内田 雅夫

地域のお宝をどうすればよいか一地元に残る古文書を題材として 河野 克人 岡山史料ネットによる水損史料レスキュー・クリーニング作業の現

状

東野 将伸

地方博物館の設計と運営にこめた想い

一文化財保護の大切さをつたえるために

高崎 童子

LINKを読む

「インタビューシリーズ 歴史研究の隣人たち 第一回」に寄せて 能川 泰治 「家じまい」と美術史 増記 隆介

活動報告

リニューアルされた神戸市立博物館 大国 正美住吉呉田・吉田家『聆濤閣集古帖』の研究と報告会 加藤 明恵「歴史文化資料館保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業」における神戸大学拠点の取り組み 吉川 圭太兵庫県文化遺産防災研修会一二〇一九年度開催分の概要と課題 井上 舞人文学研究科古文書室架蔵文書群の紹介(九) 木村 修二

◆歴史と神戸 神戸史学会

〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4 田中印刷出版内 TEL078-871-0551 年3000円 1962年創刊

人文学研究科古文書室収蔵文書一覧(二〇一九年度購入分)

◇344 (60-1) 2021.2 A5 49p 600円

《特集 宿駅と鉄道のひょうご史》

明治初期における宿駅制度の改廃と地域社会

一兵庫宿駅と宿駅人足を中心に井上 綾花開業の頃の官設鉄道神戸駅髙橋 健司有馬軽便鉄道史阪下 博也篠山口駅列車事故の真実一女性教諭の死をめぐって玉木 雄三

一ノ谷合戦話の虚実―延慶本『平家物語』一ノ谷合戦話の創作性(続)

渋谷 武弘

吉川 圭太

地域から 尼崎藩『岡本家大庄屋日記』五〇冊を解読出版

市民主体で推進した研究会の成果

岸添 和義

新聞地域版を読む 神戸新聞の文化財記事(2014年9月22日~9月26日)

大国正美/有吉康徳

奈 良 県

◆帝塚山大学大学院人文科学研究科紀要

〒631-0062 奈良県奈良市帝塚山7-1-1 1510742-48-8150 2000年創刊

♦19 2020.3 B5 80p

『延喜式』治部省式祥瑞条の成立に関する一考察 滋賀県愛知郡愛荘町の山の神行事 西連寺 匠 京都府木津川市加茂町の民俗誌 稲田 貴仁 四條畷市田原地区の人生儀礼に関する民俗誌 清水 智子 大和岡寺と百済外里遺跡出土文様 博 の使用法 山本 剛史 書評 今泉降雄『古代国家の地方支配と東北』 中村 杏南

実践報告

城陽市歴史民俗資料館(五里ごり館)での展示活動報告

寺濃 織苑

三郷町・帝塚山大学共催展示の実践報告 「ねぇ、平隆寺って知っ

てる? 一瓦でみる古代三郷の歴史―|

能勢麻由佳

◆奈良県立同和問題関係史料センター研究紀要

〒630-8133奈良市大安寺1-23-1 1至0742-64-1488 1994年創刊

♦ 25 2021.3 A5 89p

明治期、被差別部落知識人の交流圏―中尾靖軒とその周辺

大和の細男の成り立ちに関する研究ノート

 奥本
 武裕

 竹中
 緑

調査に関する一考察

竹田 祥子

『寧府紀事』に見る川路聖謨と被差別民の交流について

深澤 吉隆

和歌山県

◆熊歴情報 熊野歴史研究会

〒647-8555新宮市春日1-1 新宮市役所商工観光課 山本殖生 TELO735-23-3333 年3000円

◇220 2021.3 B5 2p

役員会報告⇒なんとか会を存続させます/『熊野歴史研究』23号刊行 /『熊野の和紙』大西為義元会員遺稿集/『和歌山県の祭りと民俗』 和歌山県民俗芸能保存協会編/『地方史研究の最前線 紀州・和歌 山』 和歌山地方史研究会/事務局より

島根県

◆大社の史話 大社史話会

〒699-0751出雲市大社町杵築西2695-1 稲根克也方 1x10853-53-4966 年2500円 1974年創刊 http://www.taisha-shiwa-kai.jp

◇205 2021.1 B5 40p

《特集 出雲大社境内遺跡巨大柱発見20周年》

出雲大社境内遺跡発掘二十周年記念座談会 出席者:千家和比古·松

雄充晶・吉田明弘・加村健悟・山崎裕二・山崎泰弘/コーディネー

ター:稲根活也/オブザーバー:馬庭孝司/事務局:石原聡・亀山

出雲大社境内遺跡出土の玉類と祭祀

松雄 充晶

「大社の文化を学ぶ・受け継ぐ・創る」シリーズ16

響け大社の杜に

混声合唱団まほろば

令和2年(2020)7月~9月 出雲市大社町年表 手錢記念館の四季 杵築文学あれこれ(9)

手錢家文芸資料のデジタル化について

佐々木杏里

編集部

ギャラリー展「出雲神楽―その歴史と道具」

出雲弥生の森博物館(文責・伊藤はるか)

奈良県立橿原考古学研究所附属博物館蔵品巡回特別展「しきしまの大

和へ 奈良大発掘スペシャル」 島根県立古代出雲歴史博物館(文責・東山信治) 表紙写真 出雲大社御本殿前の巨大柱発掘場所 撮影・川上淳

広島県

◆芸備地方史研究 芸備地方史研究会

〒739-8522東広島市鏡山1-2-3 広島大学大学院文学研究科日本史学研究室内 12082-424-6643 年3000円 1953年創刊 http://hiroshima-u.ac.jp/geishi/ ◆317 2021.2 A5 30p 600円

広島藩士「河原家文書」について一秀吉家臣から近世藩士への変容 太田 浩司 動 向

新聞記事から(2017年1月~12月)

広島県の地方史研究 雑誌目録/研究活動

芸備掲示板 企画展「広島かわいい大博覧会」 広島城/早春の展示「中世ものづくり」 広島県立歴史博物館/企画展「みはら民俗学事始・鮓本刀良意展~旅する巨人・宮本常一に導かれて~」 主催・三原市教育委員会/令和2年度風土記の丘ギャラリー「江戸時代の備後北部と頼杏坪」 みよし風土記の丘ミュージアム(広島県立歴史民俗資料館)/特別展「広島の災害の歴史―自然の猛威と先人の知恵」 広島市郷土資料館/企画展示「たぬきの糸車と冬のくらし」 芸北民俗芸能保存会伝承館

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会

備後国衆列伝(6) 世羅郡の栗原氏 調査報告

田口 義之

中世石浩物の調査報告

山手銀山城跡測量調査報告 羽賀茶臼山城について

有地大谷城踏査報告

杉本 憲宏

中世史部会(文·杉本憲宏)

小林悠一のかんたん古文書講座 第5回

小林 悠一

研究レポート 道三町の謎(2)―道三町移動説

瀬良 泰三

中世史へのご招待

田口義之の備後山城50選(43) 中世山南郷の拠点 矢栗城

備陽史探訪の会NEWS 福山城下歩いて発見 初代藩主時代の痕跡探す 「中国新聞」備後版 2021年(令和3年)2月7日(日)/福山で歴史散策 街の変遷に思いはせる 「山陽新聞」備後版 2021年(令和3

年)2月10日(水)

近世福山の歴史講座 福山藩水野家、突然の終焉 大門便り 五千年の歴史と文化が息づく町だいもん

高木 康彦

曽我部 光

読者ノート

地図から見る歴史 『日本書紀』の吉備国 四、大和と吉備 明治の戸籍と秋山榮 岡田宏一郎 若林 啓文

田口 由実

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会

〒723-0051三原市宮浦6-9-32 鈴木方 年3600円 120848-63-9932

♦359 2021.2 B5 12p

「鬼の豆」の思い

今月の各地 野生生物との共存~自然保護と山の暮らし

行長 啓三

日本の牛と馬、交通の歴史(9)

 上田
 茂

 三好
 邦範

消えゆく三原の近代化遺産(その8) 帝人(つづき)

西村 雅幸

神明当屋帖 その二 より(3)

定森 總治

♦360 2021.3 B5 12p

表紙 節分祭でコロナ退治 節分祭りの行事(賀羅加波神社 中之町)

撮影・鈴木健次(宮浦)

今月の各地 今思うこと

大坪 一夫

春のハイキング「旭町・吉浜めぐり」ご案内

西村 雅幸

日本の牛と馬、交通の歴史(10) 消えゆく三原の近代化遺産(9) 片倉製糸 三好 邦範 西村 雅幸

神明当屋帖 その二 より(4)

定森 總治

♦361 2021.4 B5 12p

今月の各地 月刊誌「わが町三原」と私

松田 治三

日本の牛と馬、交通の歴史(11) 三原でも石炭が採れた?(上) 神明当屋帖 その二 より(5)

三好 邦範 西村 雅幸

定森 總治

徳島県

◆徳島県立博物館ニュース

〒770-8070徳島市八万町向寺山 徳島県文化の森総合公園 Tell 088-668-3636 1990年創刊 https://www.museum.tokushima-ec.ed.jp

♦121 2020.12 A4 8p

特集「常設展リニューアルに向けて|

恐竜 ミライズに出現!!

飛び出せ博物館!!徳島まるづかみ展・県西編

植地 岳彦

新常設展の私のイチオシー

木偶

はじめに/最も充実した資料/知っているようで知らない「阿 波人形浄瑠璃 | /「阿波人形浄瑠璃 | の凄いところ/「木偶 |

はまるで木製のロボット

庄武 憲子

谷田蒔絵 扇軍配散模様料紙硯箱

大橋 俊雄

徳島はカタツムリ王国

山田 量崇

海部川の生きもの 徳島県南部のアカメ

井藤 大樹

移動展「徳島まるづかみ展・県西編」

愛 媛 県

◆遺跡 遺跡発行会

〒791-2101伊予郡砥部町高尾田1108-3 そがめ塾気付 MX089-905-2925 1968年創刊

◇53 2020.12 B5 324p 1800円

《特集 愛媛の縄文・弥生時代の石器(後)》

特集 愛媛の縄文・弥生時代の石器(後)

東代東部の縄文・弥生時代の石器

正岡 睦夫 清水 真一

愛媛県南予地方の縄文・弥生時代の石器

名本二六雄

松岡文一氏の東予「石包丁集成」

愛媛県縄文・弥生時代石器出土遺跡一覧表(後)

遺跡発行会

共同分布調査

松山市浅海小竹1号墳について 松山市下難波打越古墳について

松山市浅海における縁起片岩使用の箱式石棺

安養寺裏山古墳出土方格八鳳鏡と中国製方格T字鏡

愛媛県の漢式鏡(7) 金子山鏡(2)

松山市八反地・櫛玉比売命神社古墳採集の埴輪

北条・奥道後ゴルフ場建設に伴う発掘調査の写真

四国中央市の主要古墳(旧川之江市編)

法隆寺五重塔秘宝の調査

伊予松山城築城初期の東郭石垣

愛媛における江戸・明治期の銅製錬遺跡(2)

別子銅山の山元製錬遺跡(上)

昭和初期の平城貝塚出土品の記録をめぐって一佐々木家所蔵の鵜久森

能太郎の謄写版より 井出耕二/松本安紀彦/高梨修/川上晃牛

遺跡発行会だより

例会・会務報告(2019年2月~2020年7月)

山之内志郎

河原茂/正岡睦夫

河原茂/正岡睦夫

河原茂/正岡睦夫

徳富 孔一

名本二六雄 清水 真一

河原 茂

正岡 睦夫

名本二六雄

十亀 幸雄

西村直人/十亀幸雄

『いせきニュースレター』 目次 (第129号~第140号)

◆いせき ニュースレター 遺跡発行会

〒791-2101伊予郡砥部町高尾田1108-3 そがめ塾気付 1089-905-2925

♦146 2020.12 A4 20p

久万高原町大岳岩陰 · 山頂遺跡

遠部恒/十亀幸雄 河原茂/正岡睦夫

共同分布調査 善応寺古墳と周辺の古墳調査

北条の古墳(6) 龍徳寺山1号墳(上)

正岡 睦夫

♦147 2021.1 A4 16p

北条の古墳(7) 龍徳寺山1号墳(下)

正岡 睦夫

四国の舟形系水船(32)

久万高原町定徳寺跡水船―修験の金毘羅宮別当定徳寺(下) 十亀 幸雄

♦148 2021.2 A4 20p

北条の古墳(8) 善応寺古墳

正岡 睦夫

北条の古墳(7) 等妙寺寺山石切場

十亀 幸雄

『遺跡』53号が刊行されました

追悼 吉留秀敏さんを追悼す

十亀 幸雄

『遺跡学研究の地平一吉留秀敏氏追悼論文集一』目次

『いせきニュースレター』 目次 第140号~第148号

◆伊予史談 伊予史談会

〒790-0007松山市堀之内 愛媛県立図書館内 1915年創刊

◇400 2021.1 A5 71p 750円

《400号記念特集号》

伊予史談会と地域史研究

伊予史談会の歩み 伊予史談会の一○年を振り返る

山内 譲

伊予史談会の人々

曽我部松亭と加藤恒忠

柚山 俊夫

追想 景浦勉先生

高須賀康生

伊予史談会の史料

伊予史談会文庫架蔵 影写本目録 I

一中世から近世初頭の諸家・寺院・神社

山内 治朋 川島 佳弘

伊予の筆子塚研究序説—『伊予史談』「掃苔録」を手がかりに 温故知新—水害の史料紹介

門田恭一郎

『伊予氏談』論文目録(368号~399号)

編集部

報告 第13回四国地域史研究連絡協議会(愛媛大会)参加記

永井 紀之

郷土その日その日 自令和2年8月至令和2年11月 第

編集部(柚山俊夫)

例会記事 第1260回 畔地梅太郎と故郷―秋山英一氏との関係から 喜安嶺氏、伊予の中世考古学―あゆみと現状 中野良一氏/第1261

回 愛媛におけるスペイン・インフルエンザの流行について 永井 紀之氏、災害と地域文化一西日本豪雨からの復旧・復興 大本敬久 氏/第1262回 真鍋嘉一郎の生涯 西原俊基氏、松山城と松山大空 襲一愛媛新聞連載「轍を掘る」から 中井有人氏

◆四国遍路と世界の巡礼

愛媛大学四国遍路・世界の巡礼研究センター

〒790-8577松山市文京町3 Tel.089-927-9312 2016年創刊

http://henro.11.ehime-u.ac.jp

♦6 2021.3 A4 75p

論考 世界の巡礼編

近世の終末論とイェルサレム巡礼

ーモーセス・パゾーラとディエゴ・デ・メリダを例に 関 哲行

熊野古道とサンティアゴ巡礼路―「二つの道の巡礼者」の比較 大原 志麻

論考 四国遍路編「第13回四国地域史研究大会」

「三教指帰」に見る空海と四国 大本 敬久

武士の四国遍路―徳島藩士の遍路日記を中心に 松永 友和

江戸・明治時代の四国遍路の宿の案内所

稲田 道彦

四国の四つのパゴダー眉山公園・善通寺・石手寺・吸江寺のパゴダ

小幡 尚

史料紹介 新発見の遍路日記「四国順拝みちの日記」

胡 光

佐 賀 県

◆九州史学 九州史学研究会

〒819-0395福岡市西区元岡744 イーストー号館 九州大学文学部日本史学研究室内 TEL092-802-5098 1956年創刊

http://www2.lit.kyushu-u.ac.jp/~his_jap/kyushusigaku/

♦187 2021.3 B5 60p

二見園田一族と相良氏領国

小川 弘和

公儀普請における石船の多様性と幕藩関係

-慶長十一年の江戸城普請を事例に

川路 祥隆

書評 原口大輔著『貴族院議長・徳川家康と明治立憲制』

国分 航士

学会動向 第59回近世史サマーセミナー(WEB)の記録

はじめに/開催概要/全体会の記録

分科会の記録 分科会

分科会 I 領主支配·地域·環境(鷹狩)

飯島 大輔

分科会Ⅱ 幕藩関係(1)(課役) 分科会Ⅲ 幕藩関係(2)(譜代藩) 糸川 風太

分科会Ⅳ 天皇·朝廷

 宮脇
 啓

 佐藤
 一希

分科会 V 宗教·思想

小林 優里

彙 報

古代史部会の活動報告

文責・末松

中世史部会の活動報告

文責・松尾

◆末盧国 松浦史談会

〒847-0823唐津市旭が丘6-5 TEL0955-73-3549 年2000円 1962年創刊 **◇224** 2020.12 B5 20p

国指定重要文化財 絹本著色楊柳観音像 唐津市鏡 鏡神社

高麗時代 忠宣王2年(1310)

志佐 惲彦

唐津・発掘・発見の話12 その後の谷口古墳について

徳富 則久

唐津藩綿屋文書について

小島 雅明

本年度会費納入について/事務局報告

北波多飯洞甕窯跡出土の青銅箸について一出土背景の一考察 鮎川 和樹

末慮國をめぐる古代史―末慮國以前(2)

一稲作の伝播と菜畑遺跡の発見(上)

田島 龍太

諸岡文書について

山田 洋

古文書紹介 『諸岡文書』W903-8「證文之事 |

濱口 尚美

展示会案内 『末盧より『西』を望む―西九州航路の盛衰と鉄をめぐ る動静-- 展 末慮館 令和二年度唐津の歴史文化企画展/『創ら れる肖像―豊臣秀吉のイメージ― | 佐賀県立名護屋城博物館 令和 二年度企画展

「諸岡文書」(九州大学所蔵) その1・その2

最後の唐津藩主小笠原家のファミリーヒストリー

松本 和典

宮 崎 県

◆石の証言 「八紘一字 | の塔を考える会

〒880-0026宮崎市波島2-30-2 佐藤文則方 年2000円 1995年創刊 https://hakkouitiunotou.iimdo.com

♦101 2021.3 A4 8p

石の証言 台湾花蓮港青年部 台湾花蓮港聯合青年団(ホエリアン)

情勢 ミャンマー/「分断で終わらせよう」全米に語りかけた女性詩

人。就任式で未来への結束を呼びかけ

偽らざる私の気持ちです

山頭原太郎

沖縄戦と「黎明之塔」(4) 6. 沖縄戦の被害の実態

野崎 眞公

「八紘一字」の塔からのメッセージ 戦後75年講演会 「八紘一字」の 塔からのメッセージ~アナザーパースペクティブ(ある一つの観点)

野崎眞公氏の講演から考える

杉尾 宏

「八紘一字」の塔を考える会の30年(1)

税用啓一郎

沖縄県

◆宮古郷十史研究会会報

〒906-0013平良市下里1223-8 下地和宏気付 1510980-72-9963 年3000円 1977年創刊 https://kvodoshiken.ti-da.net

♦243 2021.3 B5 8p

3月定例会レジュメ 上比屋山を訪ねる

案内·下地和宏

袖川一帯の戦争遺跡の先行報告―1月定例会まとめ

森谷 大介

二月定例会のまとめ 狩俣集落を歩く 文化講座 宮古島の歴史のはじまりを探る 福島新/久貝弥嗣

一ツヅピスキアブ遺跡の発掘調査から何が分かったか

久貝 弥嗣

国立歴史民俗博物館企画展『海の帝国琉球』

一八重山・宮古・奄美からみた中世

久貝 弥嗣

第37回企画展「平成三十一・令和元年新収蔵品展」の紹介

與那覇史香 池城 直

「おきなわ県民カレッジ」 2020年度の活動方針と2021年度の計画 島尻出身の作家・評論家 新里金福没三十年

仲宗根將二

寄贈図書紹介

◆福島県歴史資料館収蔵資料目録52 県内諸家寄託文書46

福島県文化センター歴史資料課編 福島県文化振興財団 (〒960-8116 福島県福島市春日町5-54 Tm024-534-9193) 2019年3月 B5 136頁

昭和45年の開館以来、約24万点の歴史資料を収集・保存してきた福島県歴史資料館。昭和46年度から刊行を開始した収蔵資料目録の52冊目として、令和2年度に整理を終えた1件の文書群の目録を収録する。序(大沼博文)/西大枝区有文書(1393点、伊達郡国見町)(小野孝太郎)

◆茨城県立歴史館史料叢書24 弘道館史料Ⅲ

茨城県立歴史館史料学芸部編 茨城県立歴史館(〒310-0034 茨城県水戸市緑町 2-1-15 TEL029-225-4425)2021年3月 A5 370頁

茨城県立歴史館所蔵史料を紹介する史料叢書第24巻。既刊『茨城県立歴史館史料叢書3 弘道館史料 I』(2000年3月)、『同6 弘道館史料 II』(2003年3月)に続き、茨城県立歴史館所蔵の弘道館に関する史料12点を収録する。解題/(弘道館)別録天保十二年/(弘道館)調方御用留 天保十五年(弘化元年)/(弘道館)調方御用留 弘化二年/御慰労留 嘉永六年/(弘道館)諸申出留 安政四年/(弘道館)御用留 安政四年/(弘道館)御用留 万延二年(文久元年)/(弘道館)御用留 安政五年/(弘道館)御達留 東応元年/御達留 明治二年/人名索引

◆市民が歩んだ80年─「藤沢らしさ」を求めて (続)藤沢市史別編4 藤沢市市制施行80周年記念

(続)藤沢市史編さん委員会編(〒251-0054 神奈川県藤沢市朝日町12-6 Tell0466-24-0171)藤沢市刊 2021年2月 A4 131頁

藤沢市市制施行60周年記念誌『(続)藤沢市史 別編1』(2000年)、70周年記念誌 『(続)藤沢市史 本編1』(2010年)に続き、市民に身近で記憶に残る出来事を中 心に藤沢市の80年をまとめた80周年記念誌。第1章 市の誕生から戦後へ/第2 章 成長と都市化のなかで/第3章 多様化する市民社会/第4章 未来に向けて/巻末付録/あとがき

◆六日町史 民俗

南魚沼市教育委員会編·刊(〒949-6680 新潟県南魚沼市六日町865 Im1025-773-6770/〒949-6680 新潟県南魚沼市六日町456-1 南魚沼市教育委員会社会教育課文化振興係 Im1025-773-3756) 2020年3月 A5 514+7頁

平成16年に六日町と大和町が合併して誕生した南魚沼市の郷土史編さん事業として継続中の『六日町史』『大和町史』。本書は、既刊の『六日町史』通史編第1巻(自然・先史・古代・中世 2019年)、通史編第2巻(近世 2015年)、第3巻(近現代 2018年)に続く最終巻にあたり、六日町に暮らす人々の生活のあらましをまとめる。口絵/発刊のことば(林茂男)/はじめに(今成卓而)/第一章 くにしと環境(地域の自然とくらし、家に住まう、田畑を耕す、ボコサマを飼う、山の恵み、第六節 川の恵み)/第二章 くらしのなかの共同、くらしのなかの交通(村意識と村組織、青年団、家屋の建築と屋根葺きの共同、生活用水と風呂、防火と共同、雪と共同、入会・共有、生業と共同、本家分家関係とマキ、信仰と共同、冠婚葬祭における協力、生活用具の共有、年中行事における共同、講一共同の祈りと助け合い、交流する人々、共同・交流する六日町の人々)/第三章 女性のくらし(女性の一生、女性と仕事、くらしと衣食)/第四章 くらしと儀礼(年中行事、人の一生と儀礼)/第五章 くらしと楽しみ(芸能の楽しみ、子どもの遊び、口承文芸)/主な参考文献/あとがき/掲載写真・図版の出典一覧/付1 六日町の行政区名一覧、付2 六日町地域管内図

◆新編 小山田信茂論集(1)

小山田信茂公顕彰会(〒401-0012 山梨県大月市御太刀2-10-9 ™0554-22-4383) 2021年2月 A5 56頁 500円

平成30年(2018)1月に結成され、勉強会・講演会・史跡探訪などの活動を続ける 小山田信茂公顕彰会の初論集。創刊にあたり一ご縁に恵まれて(小山田隆信)/は じめに(松本憲和)/武田家滅亡に関する一考察(松本憲和)/忠臣、小宮山内膳の 遺書 副題: 笹子峠は封鎖されていなかった(武田和春)/松姫様逃走経路の確 認・信松院絵図からの一考察と小山田信茂公の決断(小俣公司)/信茂公は何のた めに蔵除源左右衛門を代官として上暮地村に送ったのか(大谷満水)/史伝 信松 院松姫(ご寄稿論文)(大久保長安の会 鈴木泰)/あとがき(松本憲和)

◆羽島郡案内(復刻版)

佐藤愛之助著 岐阜県郷土資料研究協議会(〒500-8368 岐阜県岐阜市宇佐4-2-1 岐阜県図書館内 1 ∞ 058-275-5111) 2020 年9月 200×110 058-275-5111

明治15年(1926)4月に発行された『羽島郡案内』(岐阜縣図書館所蔵)の復刻版。

岐阜県羽島郡の主な統計資料(大正13年)を収録する。羽島郡総説(地勢及沿革、気象、川島村、中屋村、上羽栗村、下羽栗村、八劍村、笠松町、柳津村、松枝村、足近村、小熊村、福壽村、竹ヶ鼻町、正木村、駒塚村、江吉良村、堀津村、上中島村、下中島村、八神村、小藪村)/大正十四年岐阜県羽島郡案内統計目次(土地、戸口、産業ノ一班、農業、蠶糸業、林業、農會、産業組合、畜産、水産、商工業、金融、交通、教育、治水、社寺、衛生、兵事、貯蓄、議會、財政、吏員、財産、公課、諸團体)/附図 羽島郡全図、羽島郡内里程・哩程表、羽島郡内水利組合区域図

◆津藩士稲葉小左衛門日記 三重県資料叢書

三重県編・刊(〒514-0061 三重県津市一身田上津部田3060 三重県総合博物館 3 階 三重県環境生活部文化振興課歴史公文書班 TEL059-253-3690) 2021年3月 A5 90頁

令和2年度で終了した三重県史編さん事業後、収集歴史資料の整理業務などを引き継いだ環境生活部文化振興課歴史公文書班により新たに刊行される『三重県資料叢書』。『三重県史研究』の刊行とともに、県史編さんにあたり県内外から収集した三重県に関する古文書等の歴史資料を活字化していく。本書では、津藩士稲葉小左衛門が文化12年(1815)から文政5年(1822)にかけて、儀礼慣行や法令、印象に残った出来事などを書き留めた「日記帳」を翻刻する。はじめに/津藩士稲葉小左衛門日記(文化十二年 侯臣要録、文化十五年 日有記、文政三年 日有記、文政五年 日有記)/資料解説(藤谷彰)/あとがき

◆滋賀の同和事業史

滋賀県人権センター編・刊(〒520-0801 滋賀県大津市におの浜4-1-14 \mathbb{I} ELO77-522-8243)2021年1月 A5 195+181+11頁 2000円+税

第二次世界大戦後の滋賀県における部落問題の解決をめざして展開された数多くの取組を中心に、滋賀県の同和事業史をまとめる。本文編 はじめに/第一章 近江の被差別民衆史(中世の近江国と被差別民衆、近世の近江国と被差別部落、明治・大正期の部落問題、昭和戦前期の部落問題)/第二章 戦後改革と部落問題(同和事業の再開、民主同盟から部落解放全国委員会へ、滋賀県部落対策協議会の発足、山積する教育課題)/第三章 同対審答申と同和事業の本格的始動(滋賀県社会福祉協議会の取り組み、高度経済成長と被差別部落の実態、同対審答申と県行政、部落解放運動の発展、同和教育の展開)/第四章 同対法の成立と同和事業の展開(特措法体制の開始と行政の新たな展開、同和対策事業の成果と同対法の延長、部落解放運動の前進と新たな課題、同和教育の充実をめざして)/第五章 地対法・地対財特法と同和事業の変化(法制度の改正と同和行政、啓発の推進と差別意識、分岐する部落解放運動、同和教育から人権教育へ)/第六章人権の世紀における部落問題(人権行政の展開、二一世紀の部落解放運動、人

権教育の広がり、部落問題の解決に向けて)/おわりに/史料編/年表編

◆茶粥・茶飯・奈良茶碗 全国に伝播した「奈良茶」の秘密

鹿谷勲著 淡交社(〒603-8588 京都市北区堀川通鞍馬口上ル 181075-432-5151) 2021年3月 B6 239頁 2200円+税

日本の食文化を代表する米と茶が結びついた奈良の茶粥は、明暦の大火後の江戸で、「奈良茶飯」となって流行し、それを食べるための「奈良茶碗」も生まれて全国に広がった。その過程を民俗、史料、文学などから多角的に追跡する。序章大和の食文化/第一章 ソウルフードとしての茶粥/第二章 穀物と人間米・麦・稗/第三章 茶粥/第四章 茶粥の起源説と歴史/第五章 奈良茶飯の登場/第六章 流行する奈良茶飯/第七章 奈良茶碗と東大寺/第八章 奈良茶碗/終章 スケープゴート 茶粥/参考文献/あとがき

◆特別図録 山崎合戦

大山崎町歴史資料館編・刊(〒618-0071 京都府乙訓郡大山崎町大山崎竜光3 大山崎ふるさとセンター内 1元075-952-6288)2020年3月 A4 32頁 大山崎の地で羽柴秀吉と明智光秀が激突し、織田政権から豊臣権力へ変遷してい く重要な事件となった山崎合戦について、『山崎合戦図屏風』や『山崎大合戦之 図』など多数の史・資料を通してその実像を紹介する。山崎合戦(大山崎歴史資 料館)/カラー図版/山崎合戦 羽柴秀吉・明智光秀行動対応表/山崎合戦の経 過(織田権力の版図、本能寺の変と安土城占拠、羽柴秀吉の東上、畿内近国の情 勢、光秀の首都防衛、大山崎における禁制獲得、西国街道に殺到する秀吉軍、大 山崎の黒門、合戦の展開、明智一族の滅亡、清洲会議と秀吉による山崎築城、山 崎合戦の意義)/山崎合戦関係史料(41点)

◆「舞鶴市糸井文庫蔵浦島伝説関連資料の基礎的研究」研究成果報告書―伝説と 文学とについての越境論的提言 科学研究費基盤研究(C)17K02438 畑恵理子編 静岡英和学院大学人間社会学部人間社会学科(〒422-8545 静岡県 静岡市駿河区池田1769 静岡英和学院大学 ™L054-261-9201) 2021年3月 A4 225頁

舞鶴市の糸井文庫に収蔵されている古典籍のうち、浦島伝説関連資料を対象とした平成29年度から令和2年度にわたる共同研究の成果報告書。はじめに(畑恵里子)/研究沿革/舞鶴市糸井文庫と地域伝承(文学を市井の人々へ(畑恵里子)、舞鶴市糸井文庫から見える丹後伝説の享受史(畑恵里子))/論考編 伝説と文学とについての越境論的提言(報告書 ポーランドの伝説と文学(園山千里)、日本古代文学の異界の女君と霊力―舞鶴市糸井文庫蔵『水江浦島対紫雲篋』の世界(畑江里子)、"Thinking〈Women X Women〉in Japan: Visualizing Texts, Reading Images Workshop III" ダートマス大学ワークショップ発表へ対するいくつかの雑感(畑恵里子)、舞鶴市糸井文庫蔵『風流新版竜宮曽我物語』から見

える寿ぎの文学としての浦島伝説(畑恵里子)、丹後網野神社の祭神と由緒の展開 一近世から近代まで(小山元孝)、『源氏物語』「夕霧」巻の「玉の箱」一死・美・ 愛執(畑恵里子)、浦島伝説の玉手箱と乙姫の操作能力(畑恵里子))/資料編(凡 例、舞鶴市糸井文庫蔵『水江浦島対紫雲篋』、舞鶴市糸井文庫蔵『風流新版竜宮 曽我物語』、舞鶴市糸井文庫蔵『亀屋万年浦島栄』、舞鶴市糸井文庫蔵『新版龍宮 洗濯噺一芋蛸の由来一』、舞鶴市糸井文庫蔵『浦島太郎一代記』、舞鶴市糸井文庫 蔵『新ぱんうらしまたまてばこ』、舞鶴市糸井文庫蔵『THE FISHER BOY URASHIMA』)/あとがき(畑恵里子)

◆南木芳太郎日記四一大阪郷土研究の先覚者 大阪市史史料89

大阪市史編纂所編 大阪市史料調査会 (〒550-0014 大阪市西区北堀江4-3-2 大阪市立中央図書館内 15106-6539-3333) 2020年9月 A5 184頁 1800円 昭和6年(1931)に雑誌『郷土研究 上方』(昭和19年4月まで151号)を創刊し、「上方郷土研究会」を発足させた南木芳太郎(1882~1945)の日記『南木芳太郎日記』(全15冊、大阪市史編纂所所蔵)より、昭和14年・15年分を翻刻する。南木芳太郎日記 昭和十四年/南木芳太郎日記 昭和十五年/解題 堺の図書館員から見た『郷土研究 上方』(大浦一郎)

◆明治大正大阪市史編纂日誌(上) 大阪市史史料90

大阪市史編纂所編 大阪市史料調査会 (同上) 2021年3月 A5 154頁 1800円 『明治大正大阪市史』(全8巻、1933年~1935年)編纂時の編纂事務局が作成した 編纂日誌5冊のうち、昭和2年4月30日から昭和4年6月29日までの記事を翻刻・収 録する。凡例/昭和二年度(昭和2年4月、同年5月、同年6月、同年7月、同年8月、 同年9月、同年11月、同年12月、昭和3年1月、同年2月、同年3月)/昭和三年度 (昭和3年4月、同年5月、同年6月、同年7月、同年8月、同年9月、同年10月、同年 11月、同年12月、昭和4年1月、同年2月、同年3月)/昭和四年度(昭和4年4月、 同年5月、同年6月)/解題(堀田暁生)

◆講座・古代王権の興亡 第8回 日本の神話について(その5)

出雲の「特殊性」をめぐって 妙見山麓遺跡調査会紀要37

神崎勝著 NPOみょうけん(〒679-1214 兵庫県多可郡多可町加美区的場294 TELO795-35-0555)2021年1月 A4 27頁

NPOみょうけん(妙見山麓遺跡調査会)主催の新講座「古代王権の興亡」第8回(2020年12月19日)の記録。「出雲」の特殊性について/記紀の出雲(記紀の神代史、記紀の神武~応神天皇の条、記紀の仁徳天皇以降の条)/斉明朝の出雲(出雲国からの報告(斉明四年紀)、出雲沿岸部のチャートの作成(出雲風土記~斉明四年頃か)、出雲大社の創建(斉明五年紀)、阿倍比羅夫による日本海沿岸部の防衛(斉明四~六年紀))/考古学からみた出雲/談話の記録/参考文献/資料

◆講座・古代王権の興亡 第9回 日本の神話について(その6)

「日向」という概念について 妙見山麓遺跡調査会紀要38 神崎勝著 NPOみょうけん(同上)2021年3月 A4 20頁

講座「古代王権の興亡」第9回(2021年1月16日)の記録。はじめに/記紀の日向神話(天孫降臨の物語、海サチ・山サチの物語、『日本書紀』の日向神話)/日向神話の舞台について(天孫降臨の地、ニニギの神話の地 および妃の名、日向三代の御陵の所在、隼人の住地について)/もうひとつの「日向」/その他の「日向」の史料(日向の橘ノ小門、日向の駒、南海民の「日向」漂着)/熊襲について/むすび/質疑応答/参考文献

◆後記-

本誌147で記した深井人詩氏の追悼録が企画され(代表:渡辺美好氏)、編集を進 めている。深井氏の交友関係は広く、筆者の面識のない方も少なくない。元大阪 府立中之島図書館郷土資料課長・大阪府史編集室長の髙松敏男氏もその一人であ るが、原稿を巡る遣り取りが縁で、著書『発掘追跡 大阪近代文学の興亡』(和泉 書院 2018)の恵与にあずかった。自らが発掘した新資料により、黒岩涙香、角 田浩々歌客、二葉亭四迷、藤澤桓夫、織田作之助ら大阪ゆかりの作家を考証した 文学論で、資料博捜の徹底ぶりには目を見張らされた。氏の執筆論稿や作成書誌 の仕事の大半を、「埋もれた文献・資料を重視し、徹底的な原本調査に基づき、 先行論稿に疑義を呈し、少なからず文献学的犯罪捜査 | に突き動かしたものは何 だったのか。あとがきでそれを知り、胸を衝かれた。1945年3月14日未明の大阪 大空襲で生死にかかわる壮烈な体験をした氏は、敗戦が確定したにもかかわらず、 「ただポツダム宣言を受諾しただけ」とか、「昨日までのことは一切が間違いでし た、今日からは民主主義の世の中にかわりました | という、人の浅ましさを至る ところで見せつけられ、「既成の総ての価値、存在しうる事物の根拠について、 信じる確信を喪失し」、「信じられるものは、自分と自分の眼、そして自ら体験し た確信のみ」になったというのである。厳しい言葉である。筆者は氏のような時 代体験はしていないが、いやしくも日頃から文献資料に与し、歴史を学ぼうと志 す者として、常に既成の価値観を検証し、文献批判する態度を持たなければなら ないと、心させられた。それにつけても、泉下においてなお、このような導きを してくださった深井さんに感謝するばかりである。 (飯澤)

地方史情報 149 2021年(令和 3 年) 5月 1 日 発行

編集·制作 : 白 鳥 舎 hakucho@eris.ais.ne.jp

ウェブサイト公開:岩田書院 http://www.iwata-shoin.co.jp

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TELO3-3326-3757